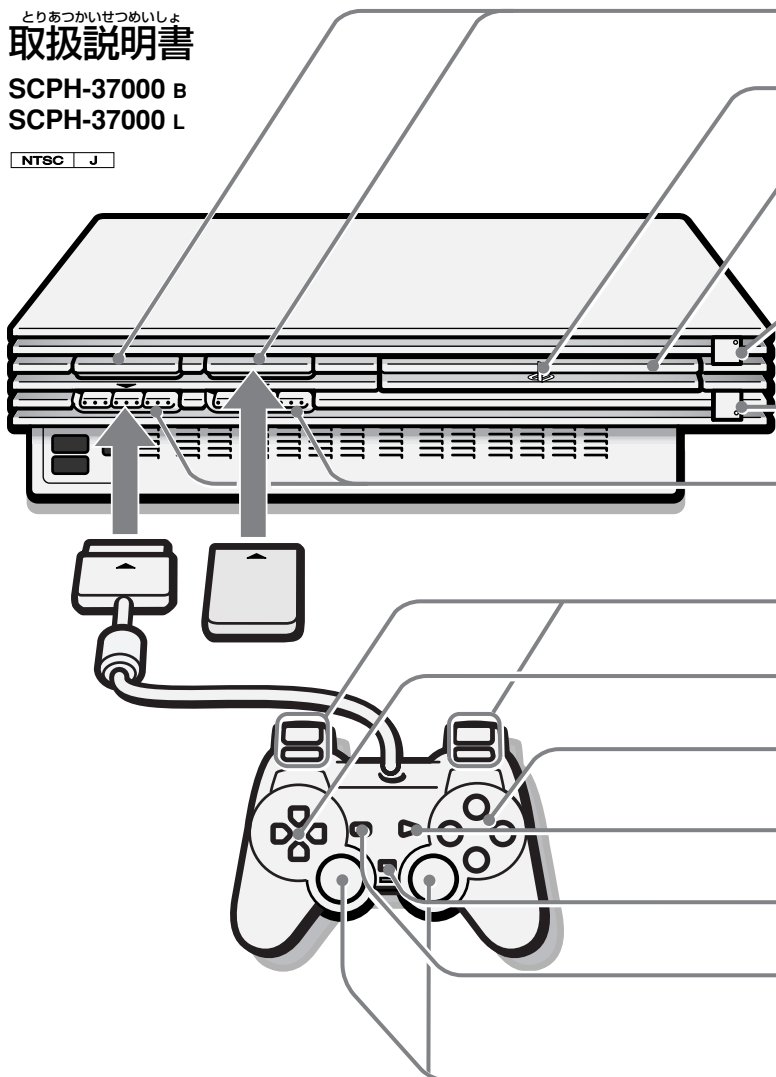
SONY

PlayStation®2

取扱説明書

SCPH-37000 B
SCPH-37000 L

NTSC J

各部のなまえ

MEMORY CARD差込口
"PS"ファミリー エンブレム
ディスクトレイ
⏻(オン/スタンバイ)/RESETボタン、⏻(オン/スタンバイ)ランプ
≜(オープン)ボタン、≜(オープン)ランプ
コントローラ端子
L2ボタン R2ボタン
L1ボタン R1ボタン
方向キー上下左右
△、○、×、□ボタン
STARTボタン
ANALOGモードスイッチ
SELECTボタン
左スティック 右スティック
L3ボタン R3ボタン

お買い上げいただき、ありがとうございます。
本機では、"PlayStation 2"規格CD-ROMおよびDVD-ROM、"PlayStation"規格CD-ROM、音楽CD、DVDビデオをお楽しみいただけます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故を起こすことがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。とくに**「安全のために」のページは必ずご覧ください。**

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
小さいお子さまには、保護者の方がお読みの上、安全にお使いください。

3-078-303-**01**(1)

⚠警告　安全のために

"PlayStation 2"は安全に十分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故が起こることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～10ページの注意事項をよくお読みください。
"PlayStation 2"の安全上の注意事項を記載しています。

定期的に点検する

設置するとき、また1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間や通風孔にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損していることに気づいたら、すぐにインフォメーションセンターに修理をご依頼ください。
また、電源コードが破損していることに気づいたら、新しい電源コード（SCPH-10050）をお買い求めください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたり、煙が出たら

❶ 電源プラグをコンセントから抜く。

❷ インフォメーションセンターに修理を依頼する。

炎が出たら

- 電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを落とす。
- 大声で応援の人を呼ぶ。
- 水をどんどんかけるか、消火器を使って火を消す。
- 119番に通報する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などによる死亡や大けがなど、人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指挟み

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

⚠注意 健康のためのご注意

本機の使用について

本機を使用するときは、部屋を明るくし、なるべく画面から離れてください。

光の刺激によって、筋肉のけいれんや意識の喪失などを起こしたことのある方は、使用前に医師と相談する

ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面をみていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいるという報告があります。こうした症状のある方は、事前に必ず医師に相談してください。また、本機の使用中にこのような症状が起きた場合は、すぐに使用を中止して医師の診断を受けてください。

長時間、連続して使用しない（目や耳を守るために）

- 1時間ごとに15分程度の休憩を取ってください。
- 疲れているときや睡眠不足のときは、ご使用を避けてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にテレビにヘッドホンをつないで聞くときは、ご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

疲れたり、気分が悪くなったら、すぐに使用を中止する

次のような自覚症状を感じたら、すぐに本機の使用を中止してください。
使用を中止しても治らないときは、医師の診察を受けてください。

- めまい、吐き気、乗り物酔い。
- 手や腕の疲れ、不快感、痛み。
- 目の疲れ、乾燥、痛み。

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）の使用について

頭やひじなどに当てて使用しない[*1]

頭やひじ、ひざなど骨のある部分および顔や腹部など身体に当てて使用すると、バイブレーション（振動）機能の振動により体に悪影響を与えることがあります。

骨や関節、指や手などに疾患のある方は、振動機能を絶対に使用しない[*1]

骨や関節に疾患のある方や、指や手、手首、腕などを骨折したり、脱臼、肉離れ、ねんざなどを起こしているときは、振動機能を絶対に使わないでください。振動によって症状が悪化することがあります。

長時間使用しない[*2]

長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなることがあります。使用中に体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用を中止して休憩を取ってください。
しばらくしても治らないときは医師の診察を受けてください。とくに振動機能を使って、長い時間連続して遊ばないでください。目安として30分ごとに休憩を取ってください。

*1) アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）以外のバイブレーション（振動）機能がついたコントローラを使用した場合も同様です。
*2) アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）以外のコントローラを使用した場合も同様です。

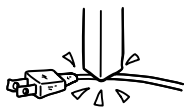
なお、他社のコントローラについては、コントローラに付属の取扱説明書をご覧いただくか、発売元にお問い合わせください。

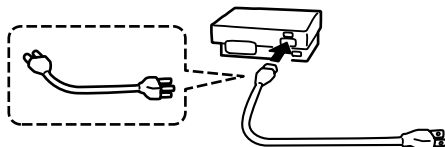
下記の注意を守らないと、火災・感電による死亡や大けがの原因となります。

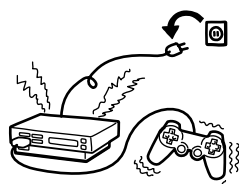
電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本体と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源プラグおよび電源コードは、幼児の口や手に触れさせたりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 重い物をのせたり、引っ張ったりしない。
- "PlayStation 2"を移動するときは電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってまっすぐ抜く。（プラグをななめに抜いたり、コードを引っ張ったりしない。）

万一、電源コードが傷ついたら、新しい電源コード（SCPH-10050）をお買い求めください。

本機専用の電源コード（SCPH-10050）以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

異常を感じたらすぐに使用を中止する

本体や周辺機器から異常な音がしたり、本体が異常に熱くなったり、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）、アナログコントローラ（DUALSHOCK）が振動しつづけたりするなどの異常を感じたときはすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてインフォメーションセンターにご相談ください。
そのまま使用をつづけると火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となります。
CDやDVDを読み出すためのレーザー光が目に入ると視力障害を起こす原因となります。

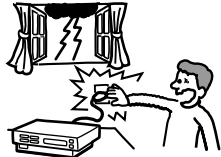
内部（端子、通風孔、ディスクトレイなど）に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、インフォメーションセンターにご相談ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

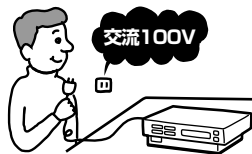
上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。
特に風呂場などでは絶対に使わないでください。
通風孔にはほこりがたまりやすいので、定期的にお手入れをしてください。

下記の注意を守らないと、**火災・感電**による**死亡や大けが**の原因となります。

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などの異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

指示

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となります。

接触禁止

通風孔のお手入れは定期的に行う

本体前面の通風孔および背面の通風孔（ファン）には、ほこりがたまりやすいので、定期的にお手入れをしてください。
通風孔にほこりがたまると、火災や故障の原因となります。

指示

⚠注意　下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

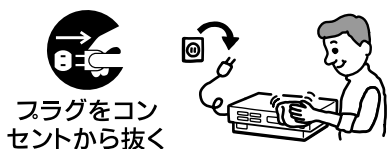
本機を使わないときや移動するときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動すると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
長期間の外出・旅行のときは、安全のため本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

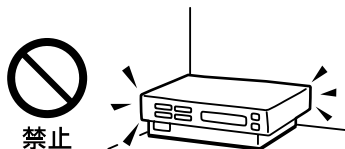
お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと本体が過熱して、火災やけが、故障の原因となります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 特に本体背面の通風孔（ファン）および前面の通風孔は、絶対にふさがない。
- 密閉された狭い場所に押し込まない。
- 毛足の長いじゅうたんや布団の上に設置しない。
- 布などで包まない。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちてけがや故障の原因となります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。

禁止

本体とコード類は正しく配置する

コードやケーブルを足に引っかけると、本体が落下・転倒して、けがや故障の原因となります。本体とコードの配置には充分に注意してください。

禁止

横置き・縦置き以外の置きかたをしない

横置き・縦置き以外の置きかたをすると、けがや故障の原因となります。
縦置きするときは、付属の "PlayStation 2"専用縦置きスタンドまたは"PlayStation 2"専用縦置きスタンド（ハードディスクドライブ（外付型）対応）（SCPH-10220）を使用してください。

指示

横置き

縦置き

本機を使用中に置きかたを変えない

ディスクに傷が付いたり、本機の故障の原因となります。

禁止

⚠注意　下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本体を縦置きにした状態で8cmCD（シングルCD）を再生するときはアダプターを使う

本体を縦置きにした状態で8cmCD（シングルCD）を再生するときは、必ず別売りのアダプター（CSA-8など）を使用してください。アダプターを取り付けずに使用すると、本体内部でディスクが破損し、けがや故障の原因となります。
（CSA-8はソニー株式会社の商品です。）

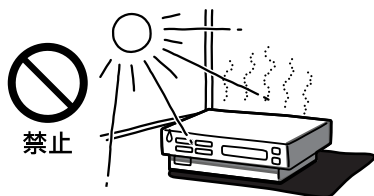
直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

本体の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがや故障の原因となります。

本体を他の機器と一緒に積み重ねない

本体を他のAV機器などと一緒に積み重ねて設置しないでください。倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

本体や周辺機器を床に放置しない

つまづいたり、踏みつけたりしてけがや故障の原因となります。

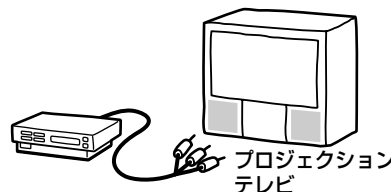
"PlayStation 2"専用IRレシーバーは幼児の手の届かない場所に置く

IRレシーバーは飲み込むと、窒息の原因となります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

幼児の手の届かない場所に置く

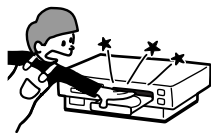
小さいお子さまが本体やケーブル、コードなどで遊ばないように手の届かない場所に置いてください。ケーブル、コードなどを首に巻きつけたり、引っ張って本体や周辺機器が落下したりしてけがや故障の原因となります。

液晶方式以外のプロジェクションテレビにつないで使用しない

液晶方式以外のプロジェクションテレビ（スクリーン投影方式テレビ）にはつながないでください。残像現象（画像の焼き付き）が起こることがあります。
特に静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置すると、残像現象（画像の焼き付き）が起こりやすくなります。

ディスクトレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開くときに、物が倒れて破損やけがの原因となります。本体の前に物を置かないでください。

ディスクトレイに手を挟まれないようにする

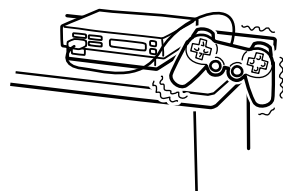
ディスクトレイが閉まるときに手を挟まれると、けがや故障の原因となります。

円形以外のディスクを使用しない

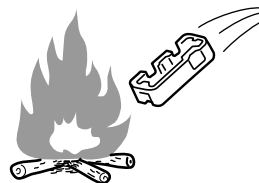
円形以外の特殊な形状（星型・ハート型など）をしたディスクを使用すると、けがや故障の原因となります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがや故障の原因となります。

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を放置しない

本機を使用中にアナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を本体の上や机の上などに放置しないでください。進行によりアナログコントローラ（DUALSHOCK 2）が振動して落下し、けがや故障の原因となります。使用しないときは本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切るか、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を本体からはずしてください。
なお、アナログコントローラ（DUALSHOCK）を使用した場合も同様です。

本体や梱包材などは注意して廃棄する

本体や周辺機器などは金属やプラスチックでできているため燃やすと危険です。また梱包材の一部も発泡スチロールでできているため燃やすと危険です。廃棄するときには十分に注意して、各自治体の指示にしたがってください。

電池についての安全上のご注意

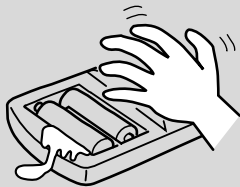
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

指示

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない場所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

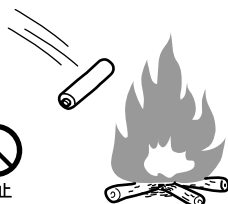
➡万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

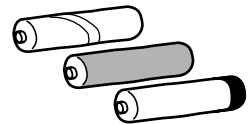
禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

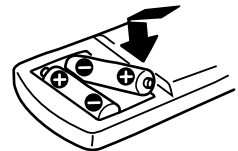
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

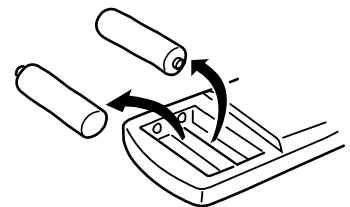
禁止

⚠注意

指定（単4形乾電池）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となります。

本機で使用できるディスクについて

本機でお使いいただけるのは、以下の5種類のディスクです。

ディスクの種類	"PlayStation 2"規格DVD-ROM	"PlayStation 2"規格CD-ROM	"PlayStation"規格CD-ROM
ディスクに付いているマーク（ロゴ）	"PS"と "PlayStation 2" ロゴタイプと NTSC J と 「FOR JAPAN ONLY」表記	"PS"と "PlayStation 2" ロゴタイプと NTSC J と 「FOR JAPAN ONLY」表記	"PlayStation" ロゴと NTSC J と 「FOR JAPAN ONLY」表記
ディスクの色	銀	青	黒
記録しているもの	音声＋映像		
ディスクの大きさ	12cm		

ディスクの種類	音楽CD		DVDビデオ	
ディスクに付いているマーク（ロゴ）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO		DVD VIDEO "DVD VIDEO"ロゴは商標です。	
記録しているもの	音声		音声＋映像	
ディスクの大きさ	12cm	8cm*1 （シングルCD）	12cm	8cm*2
最長再生時間	74分	20分	約4時間（片面） 約8時間（両面）	約80分（片面） 約160分（両面）

*1 本体を縦置きにした状態で8cmCD（シングルCD）を再生するときは、必ず別売りのアダプター（CSA-8など）を使用してください。（CSA-8はソニー株式会社の商品です。）

*2 8cmのDVDビデオを再生するときは必ず本体を横置きにした状態でご使用ください。

DVDビデオの信号方式と地域制限について

- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のDVDビデオはお使いいただけません。
- DVDビデオには ② のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表しています。この表示に「2」が含まれていない、または ALL の表示のないDVDビデオは、本機で再生できません。

  このようなDVDビデオを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています。」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDビデオでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

DVDビデオ再生時の操作上のご注意

DVDビデオはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作した通りに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

海外で購入されたディスクについて

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。
海外で購入された、NTSC U/C および PAL の表記がある"PlayStation 2"規格CD-ROMおよびDVD-ROM、"PlayStation"規格CD-ROMは、本機ではお使いいただけません。

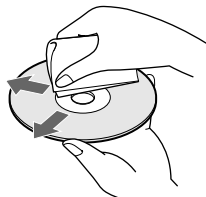
特殊な形状をしたディスクについて

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、正常に動作しないことや本機の故障の原因となります。

使用上のご注意

ディスクの取り扱いについて

- 直射日光があたるところや暖房器具の近くなど、高温のところに保管しないでください。湿気の多いところも避けてください。
- 長時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけたりすると、そりの原因となります。
- ディスクは表面に手を触れないように持ってください。
- 紙やテープをディスクに貼らないでください。
- ディスクにペンなどで書きこみをしないでください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽くふきます。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

端子を直接触らないでください

本機の端子を直接手で触ったり、異物を入れないでください。
また、EXPANSION BAY（拡張ベイ）を使用しないときは、EXPANSION BAY内の端子（拡張バスコネクター）を保護するために、必ずEXPANSION BAYカバーを付けてください。

外箱は捨てないでください

- 外箱にはこの製品の保証書が印刷されていますので、絶対に捨てないでください。また外箱は修理の際、製品保護のためにも必要となります。
- 修理の際には、保証書を外箱から切り取らないでください。保証書が本機のものであることを確認するため、外箱に貼り付けられているバーコードラベルが必要となります。

結露が起きたときは

本機やディスクを寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などは、本体内部のレンズやディスクに露がつき（結露）、正しく動作しないことがあります。ディスクを取り出して結露がとれるまで数時間放置してください。正常に動作するようになります。
何時間たっても正常に動作しない場合は、インフォメーションセンターにご相談ください。

強い衝撃を与えない

本体や周辺機器を投げたり落としたり、物をぶつけたりしないでください。また、持ち運ぶときには衝撃を与えないでください。
故障の原因となるばかりではなく、ディスクに傷がつくことがあります。

キャビネットを傷めないために

表面にはプラスチックが多く使われています。殺虫剤など、揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。

キャビネットのお手入れについて

お手入れをするときは安全のため、本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 変質したり、塗料がはげることがありますのでベンジンやシンナーでふくのを避けてください。
  化学ぞうきんをお使いになるときには、その注意書きにしたがってください。
- キャビネットの汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 本体前面の通風孔および背面の通風孔（ファン）にほこりがたまっているときは、掃除機などでほこりを取り除いてください。

本機を正しくお使いいただくために

落としたり重いものをのせないでください。また、使用中にゆらさないでください。

本機に強い衝撃をあたえたり、圧力をかけたりしないでください。また、使用中にゆらしたり、強い衝撃をあたえたりしないでください。故障の原因となるばかりではなく、ディスクに傷がつくことがあります。

お客様へ

この製品は本取扱説明書に記載されている使用方法に従って使用してください。製品本体を分解したり、内部解析・改造等を行うこと、および製品本体内部のチップ等に含まれるプログラム等著作物を無断で利用もしくは解析することを禁止します。

上記につきご了解いただき、ご使用ください。

内容品を確認する

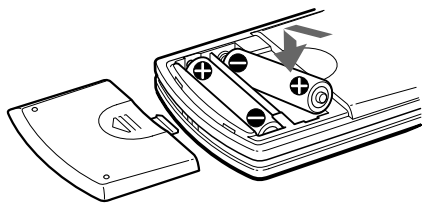
次の内容品がそろっているかを確認してください。

- "PlayStation 2"本体（1）
- 電源コード（1）
- アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）（1）
- AVケーブル（映像/音声一体型）（1）
- "PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラ（1）
- "PlayStation 2"専用IRレシーバー（1）
- 単4形乾電池（R03）（2）
- "PlayStation 2"専用縦置きスタンド（1）
- 取扱説明書（本書）（1）
- サービスのしおり（1）
- ご愛用者カード（1）

万一、内容品がそろっていないときは、インフォメーションセンターにご連絡ください。

"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラを準備する

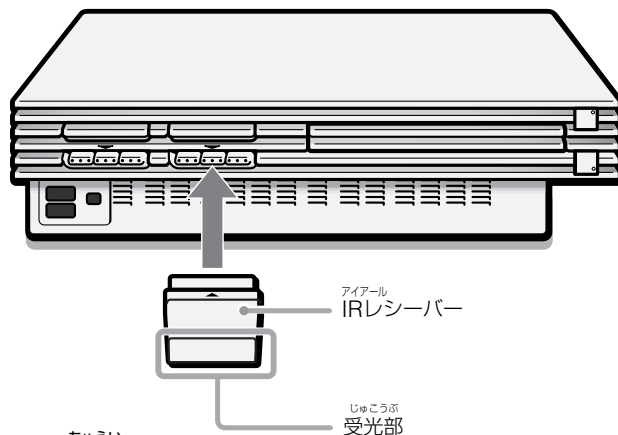
"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単4形乾電池（R03、付属）2個を入れる。

ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

－⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
－新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
－乾電池は充電しないでください。
－長い間"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラ（以下リモコン）を使わないときは、乾電池を取り出してください。
－液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

"PlayStation 2"専用IRレシーバーをつなぐ

"PlayStation 2"専用IRレシーバー（以下IRレシーバー）のIRレシーバーコネクターを矢印が必ず上になるようにして、本体前面のコントローラ端子に差し込む。

ご注意

- IRレシーバーをはじめてご使用になるときは、必ず保護シートをはがしてから使用してください。
- 2個以上のリモコンや、IRレシーバーを同時に使用することはできません。
- リモコンを使うときは、IRレシーバーの受光部 IR に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。
- リモコンをご使用になるときは、リモコンをIRレシーバーの受光部 IR の正面に向けて操作してください。

テレビにつなぐ

ご注意

"PlayStation 2" の電源コードは、すべての接続が終わってから
コンセントに差し込んでください。

本機をテレビにつなぎます。（テレビのスピーカーから音を出すときの接続です。）
デジタル端子付きのオーディオ機器につないで、デジタル音声を出力するときは、テレビにつないだあとで「デジタル端子付きのオーディオ機器につなぐ」（18ページ）をご覧ください。

ビデオ入力端子のあるテレビにつなぐ

テレビの音声入力左（白）、音声入力右（赤）、映像入力（黄）の端子へ、プラグの色を合わせてつなぎます。
お持ちのテレビによっては、別売りのS端子ケーブル（SCPH-10060）や "PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル（SCPH-10100）を使って、よりきれいな映像を楽しむことができます。

つないだあとは

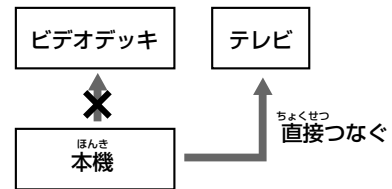
テレビの入力切り換えを、「ビデオ2」などの本機をつないだ入力に切り換えてください。

ワイドテレビにつないだときは

システム設定画面の「画面サイズ」を「16:9」に設定します。
システム設定画面について詳しくは、「システム設定をする（システム設定画面）」（20ページ）をご覧ください。

ビデオデッキにつなぐ

テレビにつなぐときと同じように、ビデオの入力端子にプラグの色を合わせてつなぎます。
ただし、DVDビデオを見るときは、本機をビデオデッキには接続せず、テレビに直接つないでください。 DVDビデオの映像をビデオデッキを経由してテレビで見ようとすると、一部のDVDビデオに使用されているコピープロテクション信号によって画像が乱れることがあります。

（DVDビデオを見るとき）

つないだあとは

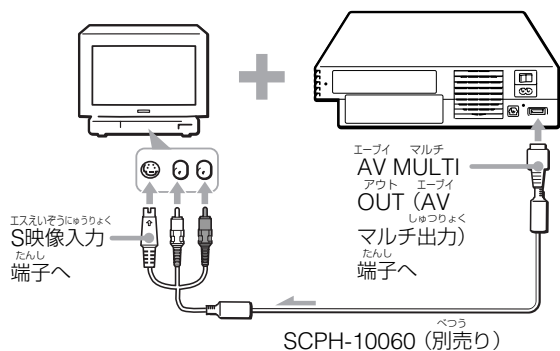
テレビの入力切り換えを、「ビデオ1」などのビデオをつないだ入力に切り換えてください。
また、ビデオの入力切り換え（またはチャンネル）を、「L1」などの本機をつないだ入力に切り換えてください。

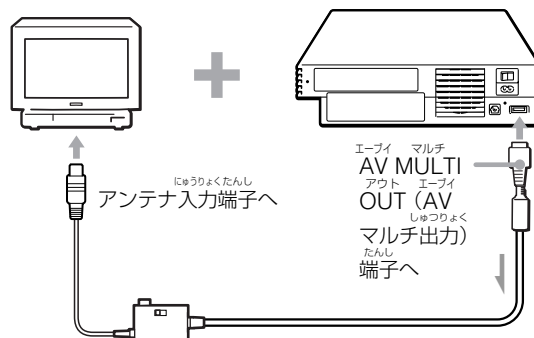
ビデオ一体型テレビに接続した場合のご注意

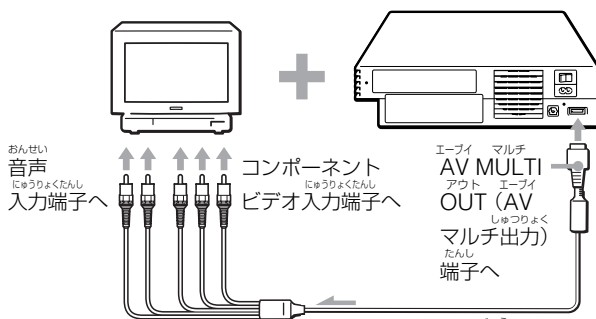
ビデオ一体型テレビでDVDビデオを再生した場合、機種によっては一部のDVDビデオに使用されているコピープロテクション信号によって画像が乱れることがあります。

* モノラルテレビから左右両方の音を出したいときは、市販のモノラル↔ステレオ変換コードをお使いください。

S映像入力端子のあるテレビにつなぐ

お持ちのテレビにS映像入力端子があるときは、別売りのS端子ケーブル（SCPH-10060）を使って、よりきれいな映像を楽しむことができます。
つないだあとは、テレビの入力切り換えを「Sビデオ」にします。（自動的に切り換えるテレビもあります。）

ビデオ入力端子のないテレビにつなぐ

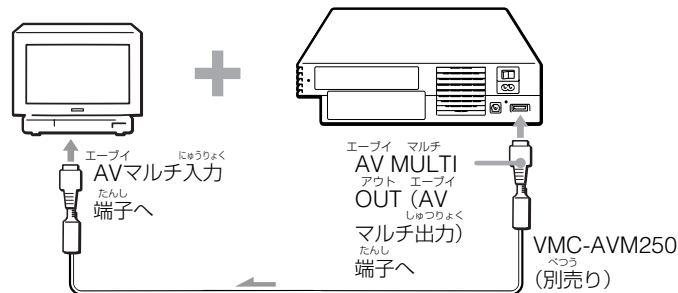
別売りのRFUアダプターキット（SCPH-10070）を使って、本機をテレビのアンテナ入力端子につなぐことができます。このつなぎかたでは、音声がモノラルになります。
詳しくは、SCPH-10070の取扱説明書をご覧ください。

コンポーネントビデオ入力端子のあるテレビにつなぐ

お持ちのテレビに、本機の出力信号に対応したコンポーネントビデオ入力端子（Y CB/PB CR/PR）があるときは、別売りの"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル（SCPH-10100）を使って、さらにきれいな映像を楽しむことができます。
"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルをつなぐ前に、付属のAVケーブル（映像/音声一体型）をつないで、システム設定画面の「コンポーネント映像出力」を「Y Cb/Pb Cr/Pr」に設定してください（お買い上げ時は、「Y Cb/Pb Cr/Pr」に設定されています。20ページ）。設定した後、"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルをつないでください。

ご注意

ハイビジョン入力専用のコンポーネント入力端子（Y/PB/PR）を持つテレビにつないで、本機をお使いになることはできません。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

AVマルチ入力端子のあるテレビにつなぐ

お持ちのテレビにAVマルチ入力端子があるときは、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）を使って、さらにきれいな映像を楽しむことができます。AVマルチ入力端子のあるテレビは、RGB入力のみ可能なもの、RGB入力とY CB/PB CR/PR入力が可能なものがあります。（詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。）
マルチAVケーブルをつなぐ前に、付属のAVケーブル（映像/音声一体型）をつないで、システム設定画面の「コンポーネント映像出力」を「RGB」または「Y Cb/Pb Cr/Pr」に設定してください（20ページ）。設定した後、マルチAVケーブルをつないでください。

ご注意

RGB入力のみ対応したAVマルチ入力端子のあるテレビで、DVDビデオをご覧になるときは、付属のAVケーブル（映像/音声一体型）、別売りのS端子ケーブル（SCPH-10060）または"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル（SCPH-10100）など、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）以外の"PlayStation 2"に対応したケーブルをお使いください。マルチAVケーブルで接続すると、DVDビデオが正常に映りません。
RGB入力とY CB/PB CR/PR入力に対応したAVマルチ入力端子のあるテレビをお持ちの場合は、マルチAVケーブルを使ってDVDビデオをご覧になれます。接続後はテレビの設定を適切に行ってください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
（VMC-AVM250はソニー株式会社の商品です。）

残像現象（画像の焼き付き）のご注意

DVDメニューやタイトルメニュー、本機の設定画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。残像現象（画像の焼き付き）が起こることがあります。特に液晶方式以外のプロジェクションテレビ（スクリーン投影方式テレビ）では残像現象が起こりやすいので使用しないでください。

つなぐテレビによっては画面が上下に揺れることがあります

"PlayStation 2"をテレビにつないでお使いになる際に、ごく一部のテレビでは画面が上下に揺れたりすることがあります。このような場合、"PlayStation 2"を他のテレビにつないでください。
それでもテレビの画面が乱れる場合には、インフォメーションセンターまでご相談ください。

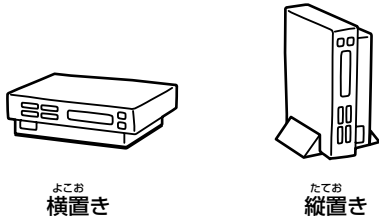
起動する

電源を入れて初めて本機を起動すると、初期設定画面が表示されます。
画面の指示に従って「表示言語」、「タイムゾーン」、「サマータイム設定」を設定します。

システム設定画面を使って後から設定を変更することができます。詳しくは、「システム設定をする（システム設定画面）」（20ページ）をご覧ください。

本体の置きかた

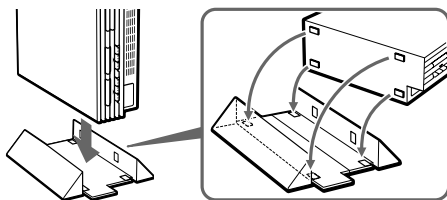
本体は、横置きまたは縦置きにしてお使いください。
縦置きにするときは、必ず付属の "PlayStation 2"専用縦置きスタンドまたは "PlayStation 2"専用縦置きスタンド（ハードディスクドライブ（外付型）対応）（SCPH-10220）をお使いください。
横置きするときは、別売りの "PlayStation 2"専用横置きスタンド（SCPH-10110）を使用できます。

横置き　　縦置き

ご注意

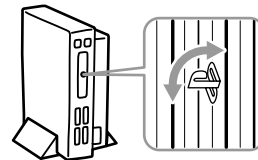
- 本機の使用中に置きかたを変えないでください。ディスクに傷が付いたり、本機の故障の原因となります。
- 横置きまたは縦置き以外の置きかたをすると、本機の故障の原因となります。

付属の"PlayStation 2"専用縦置きスタンドを取りつける

"PlayStation 2"専用縦置きスタンドを平らな場所に置き、"PlayStation 2"本体を下図のようにしっかり差し込みます。

ご注意

別売りの "PlayStation 2"専用横置きスタンドと同時に使用しないでください。 "PlayStation 2"専用横置きスタンドが"PlayStation 2"本体に取りつけられているときは、必ず取りはずしてから"PlayStation 2"専用縦置きスタンドを取りつけてください。

ディスクトレイの "PS" ファミリー エンブレムについて

本体の置きかたにあわせて、ディスクトレイの "PS" ファミリーエンブレムを回転させることができます。

設置場所についてのご注意

ほこりやたばこの煙などの多い場所に置かない

ほこりやたばこのヤニが本体内部の部品（レンズなど）に付着すると、故障の原因となります。

異常に高温な場所に置かない

窓を閉め切った自動車内（特に夏期）などに放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となります。

次のような場所には置かないでください。

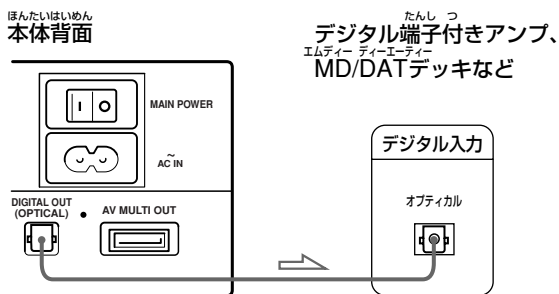
- 直射日光があたるところや暖房器具の近くなど高温のところ。（5℃～35℃の範囲でご使用ください。）
- ダッシュボードや直射日光下で窓を閉め切った車内。
- 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
- ほこりの多いところ。
- ぐらついた台の上や傾いたところ。
- 振動の多いところ。
- 風呂場など、湿気の多いところ。

デジタル端子付きのオーディオ機器につなぐ

本機をデジタル端子付きのオーディオ機器につないで、デジタル音声を出力するときの接続です。

デジタル端子付きのアンプやMDデッキ、DATデッキにつなぐ

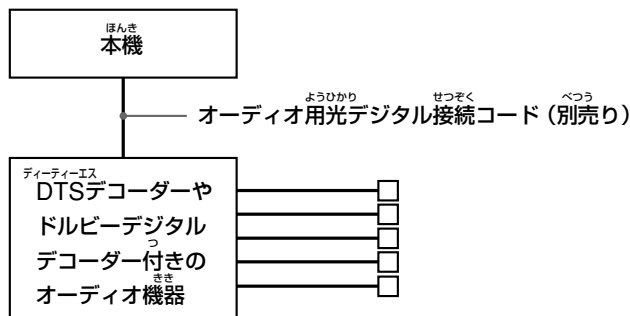
オーディオ用光デジタル接続コード（別売り）を使います。
この接続をしたときは、システム設定画面の「光デジタル出力」を「入」に設定しておきます。（お買い上げ時は「入」に設定されています。）
システム設定画面について詳しくは、「システム設定をする（システム設定画面）」（20ページ）をご覧ください。

ご注意

- つなぐ機器の取扱説明書もご覧ください。
- ドルビーデジタル方式、DTS方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
- "PlayStation 2"規格ソフトウェアの一部には、DIGITAL OUT (OPTICAL)（光デジタル出力）端子からの音声出力に対応していないものがあり、その場合オーディオ用光デジタル接続コードで接続しても音声が出力されません。そのようなソフトウェアの音声を楽しむには、本機と音響機器をAVマルチ出力のアナログ音声出力端子で接続する必要があります。

DTS*デコーダーやドルビーデジタル**デコーダー内蔵のオーディオ機器につなぐ（DVDビデオのみ）

DTSデコーダーやドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器につなぐと、ドルビーデジタル（AC-3）方式またはDTS方式でDVDビデオに記録されている音声を、映画館やコンサートホールにいるような迫力で再生できます。

オーディオ用光デジタル接続コード（別売り）を使います。
この接続をしたときは、システム設定画面の「光デジタル出力」を「入」に設定しておきます。（お買い上げ時は「入」に設定されています。）
システム設定画面について詳しくは、「システム設定をする（システム設定画面）」（20ページ）をご覧ください。

ご注意

つなぐ機器の取扱説明書もご覧ください。

* 5.1チャンネル・サラウンド対応の音声デジタル圧縮技術。
Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

** 5.1チャンネル・サラウンド対応の音声デジタル圧縮技術。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。
不許複製。

その他のデジタル機器につなぐ

i.LINK対応機器につなぐ

本体前面の S400（i.LINK）端子を使って、i.LINK対応機器につなぐことができます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機のi.LINK端子は、i.LINK対応機器に電源を供給しません。i.LINK端子からの電源供給が必要な一部の機器は、正しく使用できないことがあります。
- 本機のi.LINK端子は最大400 Mbpsのデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は接続したi.LINK対応機器の転送速度により変わります。

i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。
i.LINKとi.LINKロゴ " " は商標です。

USB対応機器につなぐ

本体前面の（USB）端子を使って、USB対応機器につなぐことができます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

メインメニューの使いかた

本機にディスクが入っていない状態で電源を入れると、メインメニュー画面が表示されます。
メインメニュー画面から、システム設定画面やブラウザ画面、本体設定画面に進むことができます。

システム設定をする（システム設定画面）

システム設定画面では、本体の設定をすることができます。

1 **メインメニュー画面で「システム設定」を選び、○ボタン（決定）を押す。**
システム設定画面が表示されます。

2 **方向キー上下で設定項目を選び、○ボタン（決定）を押す。**
それぞれの設定をします。

設定項目

お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

■ 時刻合わせ

1 **方向キー上下で「年」を設定し、方向キー右を押す。**
同じようにして「月」、「日」、「時」、「分」、「秒」を設定します。

2 **時報に合わせて、○ボタン（決定）を押す。**
ひとつ前の画面に戻るときは、×ボタンを押します。

時計の詳細設定をするには

1 **「時刻合わせ」を選び、△ボタンを押す。**

2 **方向キー上下で設定したい項目を選び、○ボタン（決定）を押す。**

3 **方向キー左右で設定を選び、○ボタン（決定）を押す。**

- **時間表示**
  – 12時間
  – 24時間

- **日付表示**
  – 月／日／年
  – 日／月／年
  – 年／月／日

- **タイムゾーン**
  住んでいる国や地域を選びます。

- **サマータイム設定**
  「標準時間」に設定してください。
  – 標準時間
  – 夏時間

■ 画面サイズ

つなぐテレビの画面サイズを選びます。

- 4:3：通常のテレビをつなぐとき選ぶ。
- フル：通常のテレビをつなぐとき選ぶ。上下の帯が消える。
- 16:9：ワイドテレビをつなぐとき選ぶ。

■ 光デジタル出力

DIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル出力）端子の出力を設定します。

- 入：光デジタル接続コードでつないだときは「入」を選ぶ。
- 切：DIGITAL OUT端子から音声信号を出力しないとき選ぶ。

■ コンポーネント映像出力

別売りのケーブルを使って、AVマルチ入力端子や"PlayStation 2"本体の出力信号に対応したコンポーネントビデオ入力端子（Y CB/PB CR/PR）のあるテレビにつないだときに設定します。

- Y Cb/Pb Cr/Pr：別売りの"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルを使って、テレビのコンポーネントビデオ入力端子につなぐ場合。または、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）を使って、Y CB/PB CR/PR入力に対応したAVマルチ入力端子のあるテレビにつなぐ場合。
- RGB：別売りのマルチAVケーブルを使って、テレビのAVマルチ入力端子につなぐ場合。
  この設定は、"PlayStation 2"規格および"PlayStation"規格ソフトウェアの映像出力のみ有効です。DVDビデオを見るときは、自動的に「Y Cb/Pb Cr/Pr」出力に切り換わります。

ご注意

付属のAVケーブル（映像/音声一体型）または別売りのS端子ケーブル（SCPH-10060）をつないで使用するときは、この設定をする必要はありません。
"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルまたはマルチAVケーブル接続後はテレビの設定を適切に行ってください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

■ 表示言語

画面上に表示する言語を選びます。

- 日本語
- 英語

本機の電源を切っても、設定した内容はリセットされません。

ブラウザ画面を使う（ブラウザ画面）

ブラウザ画面を使って以下の設定ができます。

- "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカードまたは"PocketStation"のデータの確認・コピー・削除。
- "PlayStation 2"規格または"PlayStation"規格のソフトウェアの起動。
- 音楽CDの再生
- DVDビデオの再生

メインメニュー画面で「ブラウザ」を選び、○ボタン（決定）を押す。

ブラウザ画面に本体のMEMORY CARD差込口に差し込んである"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカード、"PocketStation"、または本体に入っているディスクがアイコンで表示されます。

メディアがない場合はブラウザ画面に「データがありません。」と表示されます。

メモリーカードデータを確認・コピー・削除する

ゲームデータをカードからカードへコピーしたり、いらなくなったゲームデータを削除したりできます。ただし、メモリーカードに"PlayStation 2"規格ソフトウェアのゲームデータをコピーすることはできません。
あらかじめ"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードをMEMORY CARD差込口に差し込んでおいてください。

1. **確認・コピー・削除したいゲームデータがセーブされている"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカードまたは"PocketStation"のアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
2. **画面表示に従ってデータのコピー・削除などを行う。**

ご注意

ゲームデータのコピーまたは削除中は、"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）、メモリーカードまたは"PocketStation"を抜かないでください。

本体設定をする（本体設定画面）

メインメニュー画面で△ボタンを押すと、詳細設定画面に移り、本体の各種機能のバージョン確認や詳細設定ができます。

■ 自動診断

本機には、ディスクを最適な状態で使えるよう自動的に設定する機能があります。

1. **方向キー上下で「本体」を選び、△ボタンを押す。**
2. **○ボタン（決定）を押す。**
3. **方向キー上下で「する」を選び、○ボタン（決定）を押す。**
4. **ディスクトレイにディスクを入れる。**
   自動診断が始まります。

ご注意

本体設定の自動診断は、次の場合に解除されます。

- "PlayStation 2"規格および"PlayStation"規格ソフトウェアまたはDVDビデオを再生したとき
- ⏻/RESETボタンを押して、リセットしたとき
- ⏻/RESETボタンを押して、スタンバイ状態にしたとき
- 本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切ったとき

■ "PlayStation"ドライバー設定

"PlayStation"規格のディスクに対する設定をします。

1. **方向キー上下で「PlayStation®ドライバー」を選び、△ボタンを押す。**
2. **設定する項目を選び、○ボタン（決定）を押す。**

- **ディスク読み込み速度**
  - 標準：通常は「標準」を選ぶ。
  - 高速：高速で読み込むときに選ぶ。ソフトウェアによっては効果が分かりにくかったり、高速での読み込みに対応していないものもある。その場合、「標準」を選ぶ。
- **テクスチャマッピング**
  - 標準：通常は「標準」を選ぶ。
  - 補間処理："PlayStation"規格のディスクを再生するとき、画面の粗さを少なくするときに選ぶ。ソフトウェアによっては効果が分かりにくかったり、画像が乱れることがある。その場合、「標準」を選ぶ。

ご注意

本体設定の"PlayStation"ドライバー設定は、次の場合に解除されます。

- ⏻/RESETボタンを押して、スタンバイ状態にしたとき
- 本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切ったとき

ゲームで遊ぶ

ゲームをはじめる

1 本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を入れる。
本体前面の⏻（オン/スタンバイ）ランプが赤色に点灯します（スタンバイ状態）。

2 ⏻（オン/スタンバイ）/RESETボタンを押す。
⏻ランプが緑色に点灯し、オープニング画面が現れます。

3 ⏏（オープン）ボタンを押す。
ディスクトレイが手前に開きます。

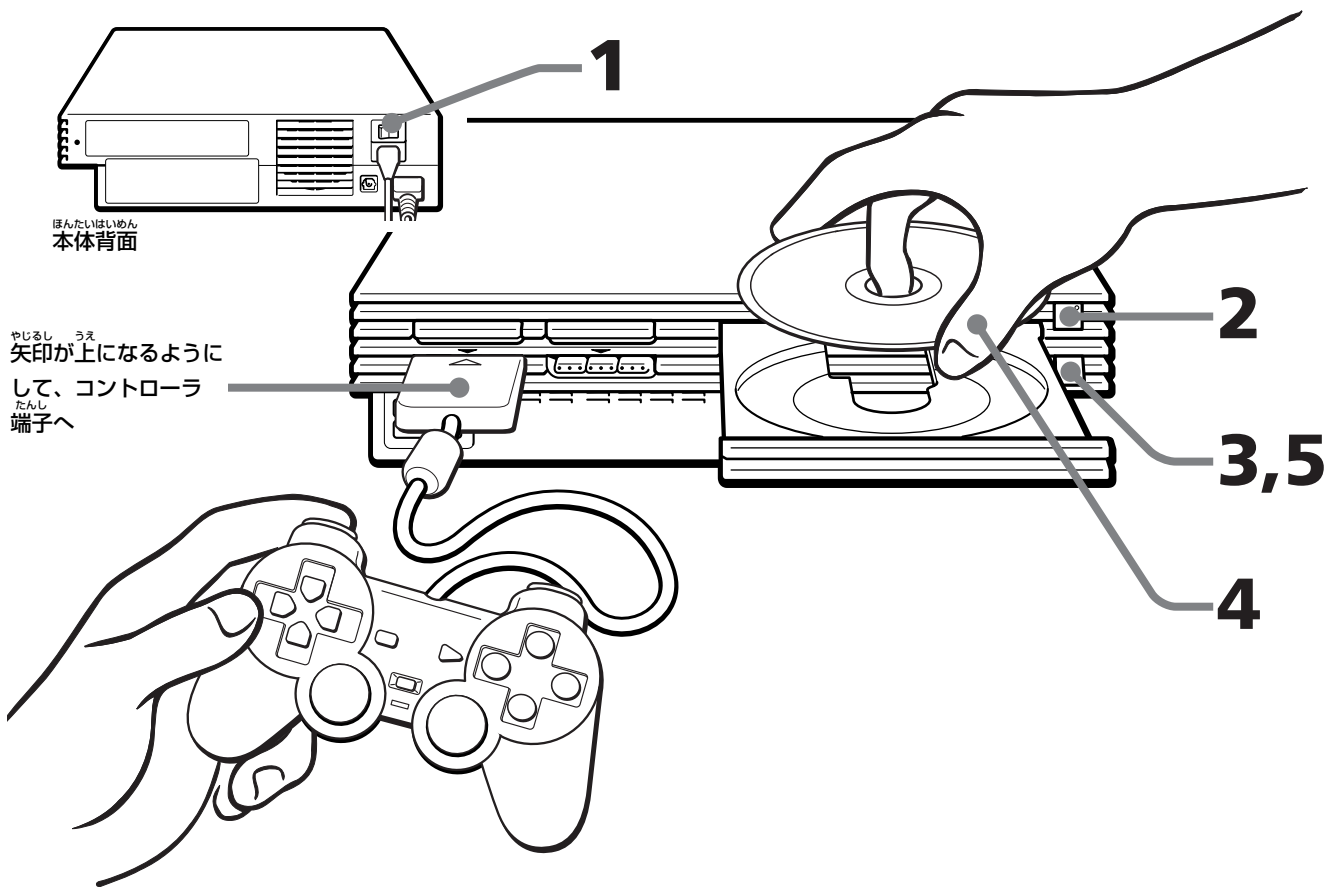
4 ディスクレーベルのある面を上にして、ディスクをディスクトレイにのせる。

5 ⏏ボタンを押す。
ディスクトレイが閉まります。次のページの②または③の画面が現れて、ゲームが始まります。

ご注意

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）、アナログコントローラ（DUALSHOCK）はソフトウェアに合ったモードにしてお使いください。（詳しくは24ページをご覧ください。）

ゲームを再スタートさせるには

⏻/RESETボタンを軽く押してリセットします。ゲーム中に押すと、ゲームが終了してしまいますのでご注意ください。

ゲームを終える

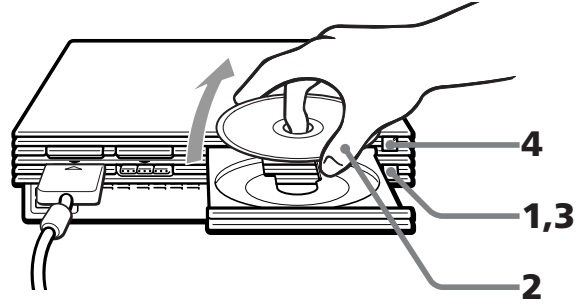
1 **⏏ボタンを押す。**
ディスクトレイが手前に開きます。

2 **ディスクを取り出す。**

3 **⏏ボタンを押す。**
ディスクトレイが閉まります。

4 **⏻/RESETボタンを約2秒間押す。**
⏻ランプが赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

長時間ゲームをしないときは

本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源を入れたときの画面

ディスクが入っていない状態で本機の電源を入れると

①の画面が現れます。

- ①の画面が現れてから "PlayStation 2"規格または "PlayStation"規格のディスクを入れると、②または③の画面に移りゲームを始めることができます。
- ①の画面からシステム設定画面やブラウザ画面に移ることができます。詳しくは、「メインメニューの使いかた」（20ページ）をご覧ください。

ディスクが入っている状態で本機の電源を入れると

ディスクの種類によって、②〜④の画面が現れます。
④の画面が現れたときは、入れたディスクが本機でお使いいただけないディスクである可能性があります。ディスクの種類をご確認ください（11ページ）。

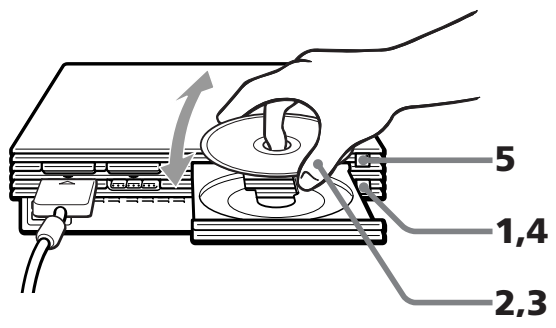
① ディスクが入っていない（メインメニュー）

② "PlayStation 2"規格 DVD-ROM/CD-ROM

③ "PlayStation"規格 CD-ROM

④ 本機で使えないディスク

別のソフトウェアで遊ぶ

ディスクを交換するときに、電源を切る必要はありません。

1 **⏏ボタンを押す。**
ディスクトレイが手前に開きます。

2 **ディスクを取り出す。**

3 **別のディスクをのせる。**

4 **⏏ボタンを押す。**
ディスクトレイが閉まります。

5 **⏻/RESETボタンを軽く押してリセットする。**
オープニング画面が現れたあと、上の②または③の画面が現れて、ゲームが始まります。

複数枚組のソフトウェアで遊んでいるときにディスクを交換する場合は、手順1〜4を行ってください。
詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。

ゲームで遊ぶ（アナログモード）

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を使うと、アナログ操作やバイブレーション（振動）機能を楽しむことができます。

> **ご注意**
>
> **アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のご使用前には、「安全のために」（4〜10ページ）を必ずお読みください。**

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）とアナログコントローラ（DUALSHOCK）の違いについて

① アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）（付属および別売り）

- "PlayStation 2"規格ソフトウェアおよび"PlayStation"規格ソフトウェアで使用できます。
  詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。
- デジタルモードとアナログモードを楽しむことができます。
  アナログモードにすると、次のボタンでアナログ操作ができます。
  "PlayStation 2"規格ソフトウェア
  方向キー上下左右／△、○、×、□ボタン／
  左スティック、右スティック／L1、R1、L2、R2ボタン
  "PlayStation"規格ソフトウェア
  左スティック、右スティック
- バイブレーション（振動）機能を楽しむことができます。

② アナログコントローラ（DUALSHOCK）（別売り）

- "PlayStation"規格ソフトウェアで使用できます。
  "PlayStation 2"規格ソフトウェアで使用できるものもあります。詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。
- デジタルモードとアナログモードを楽しむことができます。
  アナログモードにすると、次のボタンでアナログ操作ができます。
  "PlayStation 2"規格ソフトウェア
  左スティック、右スティック
  "PlayStation"規格ソフトウェア
  左スティック、右スティック
- バイブレーション（振動）機能を楽しむことができます。

ご注意

アナログ操作ができるボタンはソフトウェアによって異なります。詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。

モードを切り換える

ANALOGモードスイッチを押すたびにモードが切り換わります。アナログモードのときはLED表示が赤色に点灯します。
それぞれのソフトウェアの、対応しているモードに切り換えてご使用ください。

デジタルモード（LED表示：消灯）
↑↓
アナログモード（LED表示：赤色）

ご注意

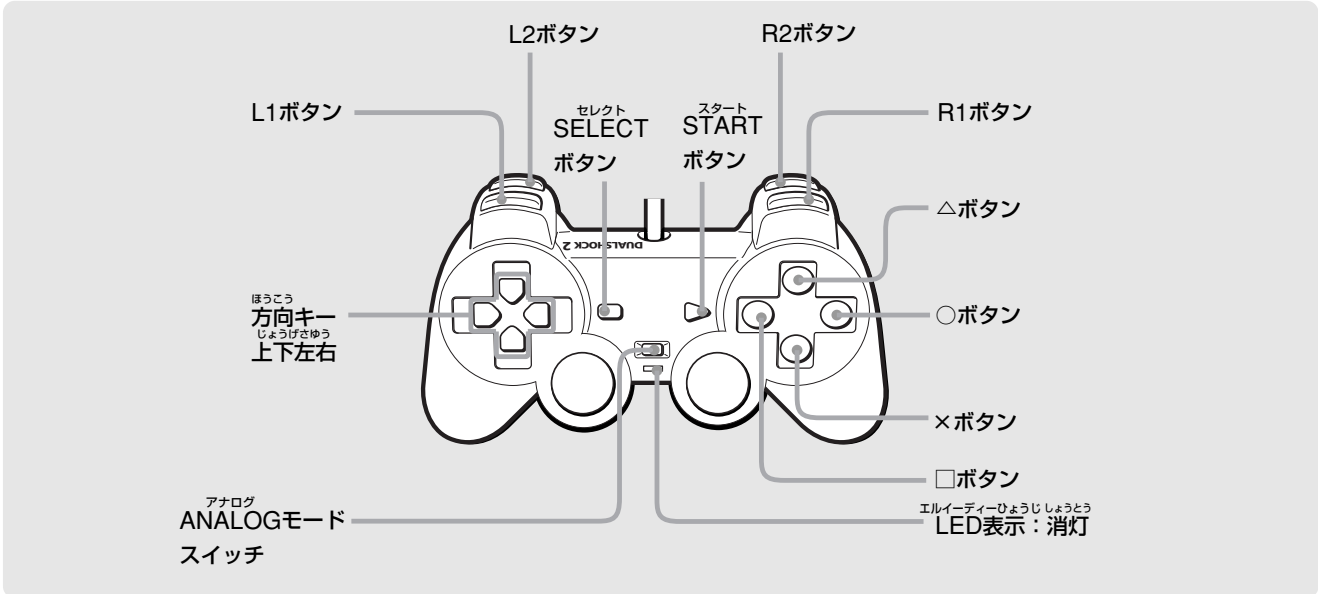
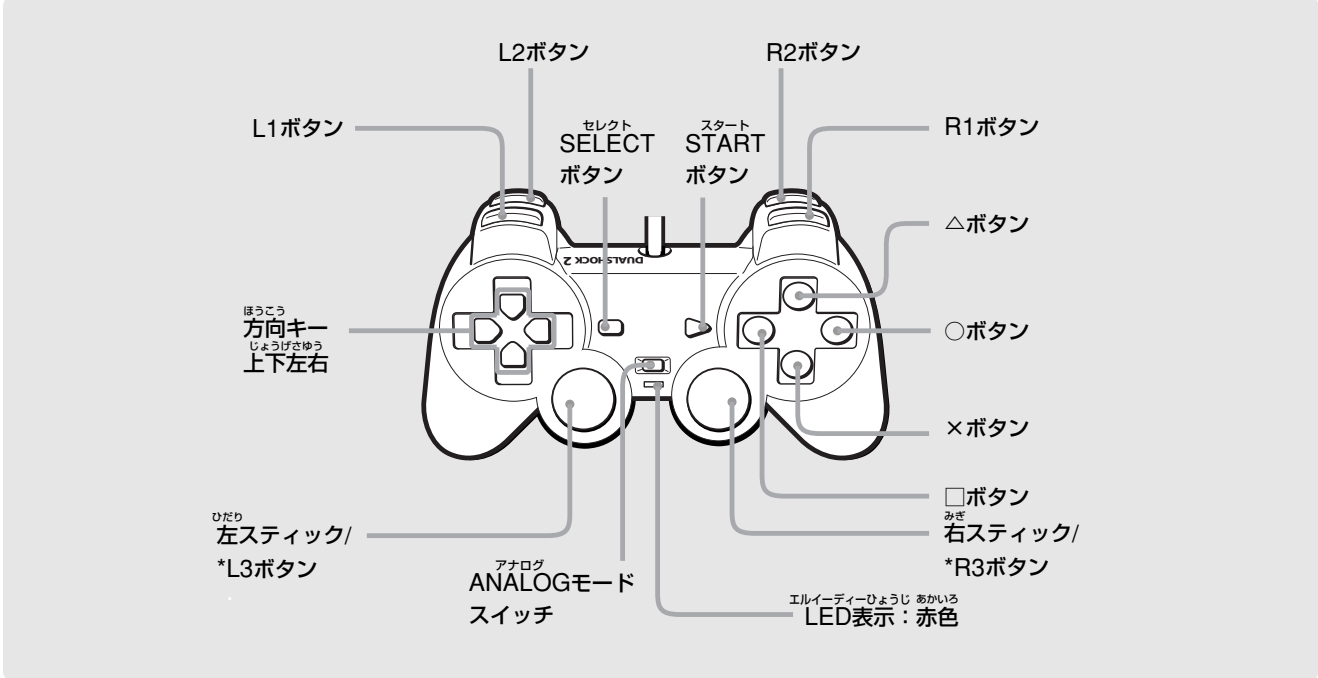
ソフトウェアによってはANALOGモードスイッチを押してもモードが切り換わらないものがあります。また自動的にモードが切り換わるものもあります。
詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。

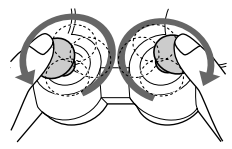
バイブレーション（振動）機能について

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）は振動機能を持つ体感型のコントローラです。振動機能のON／OFF（入／切）はソフトの画面上で操作できます。
詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。
なお、解説書に振動機能についての説明がなくても、自動的に振動機能が働くソフトウェアもあります。

ご注意

- 振動機能をお使いになる前に、4ページの「アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）の使用について」をよくお読みください。
- 使用しないときは本体の電源を切るか、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を本体からはずしてください。

デジタルモード(LED表示: 消灯)のとき

アナログモード(LED表示: 赤色)のとき

* L3ボタン、R3ボタンはスティックを押したとき機能します。

ご使用になる前に一度、図のようにスティックを大きく円を描くように動かしてください。
(スティック部分はねじらないでください。)

"PlayStation 2"専用メモリーカード(8MB)、メモリーカードを使う

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）やメモリーカードを使うと、ゲームデータをセーブ（記録）またはロード（読み出し）できます。

「"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）」と「メモリーカード」の違いについて

"PlayStation 2"規格ソフトウェアで遊ぶときは、"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）（①）を使います。
"PlayStation"規格ソフトウェアで遊ぶときは、メモリーカード（②）を使います。

① "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）（別売り）

"PlayStation 2"規格ソフトウェアのゲームデータをセーブまたはロードできます。1枚の"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）につき、約8メガバイト*のゲームデータをセーブできます。ただし、ファイル管理情報として使用される容量の分だけ、空き容量が少なくなる場合があります。
（"PlayStation"では、カードへの記録容量を「ブロック」で表していましたが、"PlayStation 2"では「キロバイト」で表します。）

* 8メガバイト＝8,000キロバイト

② メモリーカード（別売り）

"PlayStation"規格ソフトウェアのゲームデータをセーブまたはロードできます。1枚のメモリーカードにつき、120キロバイト（15ブロック）のゲームデータをセーブできます。

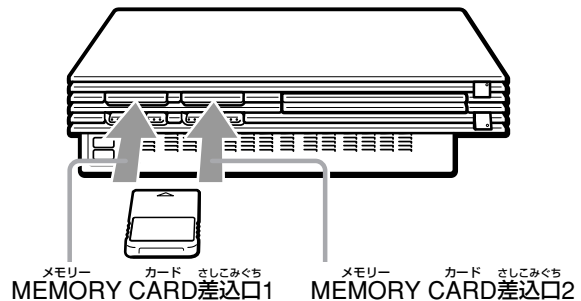
ご注意

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードの空き容量を超える容量を必要とするゲームデータをセーブしようとしても、セーブできません。ゲーム前に、データのセーブに必要な容量とカード内の空き容量を確認してください。データのセーブに必要な容量は、ソフトウェアの解説書などに記載されています。

MAGICGATEは、ソニーが考案した著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

カードを差し込む

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードを、矢印が必ず上になるようにしてMEMORY CARD差込口に差し込む。

MEMORY CARD差込口1　MEMORY CARD差込口2

マルチタップを使うときのご注意

- "PlayStation 2"規格ソフトウェアで遊ぶときは、"PlayStation 2"専用マルチタップ(SCPH-10090)を使用してください。
  "PlayStation"規格ソフトウェアで遊ぶときは、マルチタップ(SCPH-1070)を使用してください。
- **マルチタップ（SCPH-1070）を使用するときは必ずマルチタップ側のMEMORY CARD差込口Aを使用してください。マルチタップを差し込んでいる本機のコントローラ端子と同じ番号のMEMORY CARD差込口にメモリーカードを差し込んで使用すると、データが破損することがあります。**

ゲームデータをコピーする・削除する

ゲームデータをカードからカードへコピーしたり、いらなくなったゲームデータを削除したりできます。ただし、"PlayStation 2"規格のソフトウェアのゲームデータを、メモリーカード（SCPH-1020）または "PocketStation"にコピーすることはできません。
ゲームデータの確認・コピー・削除は、ブラウザ画面で行います。ブラウザ画面について詳しくは、「ブラウザ画面を使う（ブラウザ画面）」（21ページ）をご覧ください。

ご注意

ブラウザ画面では、ゲームデータのセーブやロードはできません。ゲームデータのセーブやロードのしかたについて詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。

"PocketStation"を使う

別売りの "PocketStation"（SCPH-4000）は、"PlayStation" 規格のソフトウェアのゲームデータを120キロバイト（15ブロック）セーブまたはロードできます。
また、"PlayStation 2"規格および "PlayStation"規格ソフトウェアが "PocketStation"に対応している場合、"PocketStation"のゲームをダウンロードできます。
詳しくはソフトウェアの解説書などをご覧ください。あわせて、"PocketStation"の取扱説明書もご覧ください。

音楽CDを聞く

CDを再生する

1 **メインメニュー画面で「ブラウザ」を選び、○ボタン（決定）を押す。**
ブラウザ画面が表示されます。

2 **⏏（オープン）ボタンを押す。**
ディスクトレイが手前に開きます。

3 **ディスクレーベルのある面を上にして、音楽CDをディスクトレイにのせる。**

4 **⏏ボタンを押す。**
ディスクトレイが閉まり、ブラウザ画面に音楽CDのアイコンが表示されます。

5 **音楽CDのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
音楽CDに入っている曲数分のトラックが表示されます。
再生したいトラックを選択すると、再生が始まります。

メディアがない場合はブラウザ画面に「データがありません。」と表示されます。

CDプレーヤーを操作する

方向キー左右でボタンを選び、○ボタン（決定）を押します。

- ►：再生
- ❚❚：一時停止
- ■：停止
- ⏮：再生中の曲または前の曲の頭出し
- ►►：早送り
- ◄◄：巻き戻し
- ⏭：次の曲の頭出し

いろいろな再生のしかた

ブラウザ画面の音楽CDのアイコンを選び、△ボタンを押すと、再生設定画面に移り、いろいろな再生のしかたを選ぶことができます。
お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

■ 再生モード
- <u>標準</u>
- プログラム
- シャッフル

■ 繰り返し
- <u>切</u>
- 全曲
- 1曲

好きな順に聞く（プログラム再生）

1 **方向キー上下で「再生モード」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

2 **方向キー左右で「プログラム」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

3 **再生したいトラックを選び、○ボタン（決定）を押す。**
手順3をくり返して再生したい曲をすべて選びます。

4 **×ボタンを押す。**
ブラウザ画面に戻ります。

5 **音楽CDのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
トラックがプログラムされた順に表示されます。再生したいトラックを選び、○ボタン（決定）を押すと、再生が始まります。

全曲を順不同に聞く（シャッフル再生）

1 **方向キー上下で「再生モード」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

2 **方向キー左右で「シャッフル」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

3 **×ボタンを押す。**
ブラウザ画面に戻ります。

4 **音楽CDのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
トラックがシャッフルされて表示されます。再生したいトラックを選び、○ボタン（決定）を押すと、再生が始まります。

全曲をくり返し聞く（全曲リピート再生）

1 **方向キー上下で「繰り返し」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

2 **方向キー左右で「全曲」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

3 **×ボタンを押す。**
ブラウザ画面に戻ります。

4 **音楽CDのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
トラックが表示されます。再生したいトラックを選び、○ボタン（決定）を押すと、再生が始まります。

1曲をくり返し聞く（リピート再生）

1 **方向キー上下で「繰り返し」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

2 **方向キー左右で「1曲」を選び、○ボタン（決定）を押す。**

3 **×ボタンを押す。**
ブラウザ画面に戻ります。

4 **音楽CDのアイコンを選び、○ボタン（決定）を押す。**
トラックが表示されます。再生したいトラックを選び、○ボタン（決定）を押すと、再生が始まります。

ご注意

音楽CDの再生設定は、次の場合に解除されます。

- ディスクトレイを開けたとき
- ⏻/RESETボタンを押して、リセットしたとき
- ⏻/RESETボタンを押して、スタンバイ状態にしたとき
- 本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切ったとき

DVDビデオを見る

DVDビデオを再生する

1. 本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を入れる。
2. ⏻（オン/スタンバイ）/RESETボタンを押す。
3. ⏏（オープン）ボタンを押す。
4. 再生したい面を下にして、DVDビデオをディスクトレイにのせる。
5. ⏏ボタンを押す。
   ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。

ご注意

- DVDプレーヤーのディスクのバージョンが"PlayStation 2"に内蔵されているDVDプレーヤーのバージョンより前のものであるときは、ディスクのDVDプレーヤーを"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）（別売り）にダウンロードする必要はありません。"PlayStation 2"に内蔵されているDVDプレーヤーのバージョンは、本体設定画面でご確認いただけます（21ページ）。
- ディスクによっては、再生が始まらずタイトルメニューやDVDメニューが表示される場合があります。
- DVDビデオを見終わった後に⏏ボタンを押すと、ブラウザ画面が表示されます。
- 再生中に電源を切ると、設定は保存されません。

DVDのDTS音声を再生するときのご注意

DTS音声信号は光デジタル接続コードでつないだときのみ出力されます。音声コードでつないだときには出力されません。

- DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときは、「オーディオ設定」で「音声デジタル出力」の「DTS」を「入」に設定しないでください。「DTS」を「入」に設定すると、異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損することがあります。
- 「オーディオ設定」で「音声デジタル出力」の「DTS」を「切」に設定していると、光デジタル接続コードでつないで、DVDのDTS音声を再生しても音が出ません。

DVDビデオを再生するときのご注意

- ビデオ一体型テレビでDVDビデオを再生した場合、機種によっては一部のDVDビデオに使用されているコピープロテクション信号によって画像が乱れることがあります。
- RGB入力のみ対応したAVマルチ入力端子のあるテレビで、DVDビデオをご覧になるときは、付属のAVケーブル（映像/音声一体型）など、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）以外の"PlayStation 2"に対応したケーブルをお使いください。マルチAVケーブルで接続すると、DVDビデオが正常に映りません。詳しくは、「AVマルチ入力端子のあるテレビにつなぐ」（15ページ）をご覧ください。
  （VMC-AVM250はソニー株式会社の商品です。）

DVDビデオを終える

1. ⏏ボタンを押す。
2. ディスクを取り出す。
3. ⏏ボタンを押す。
4. ⏻/RESETボタンを約2秒間押す。

ご注意

変更された設定は、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。ディスクを取り出す前に⏻/RESETボタンを押したり、本体の電源を切ると、変更した設定は保存されません。

DVDプレーヤーの操作のしかた

DVDプレーヤーの操作は、リモコンのボタン、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のダイレクトボタンまたは画面上の操作パネルで行うことができます。

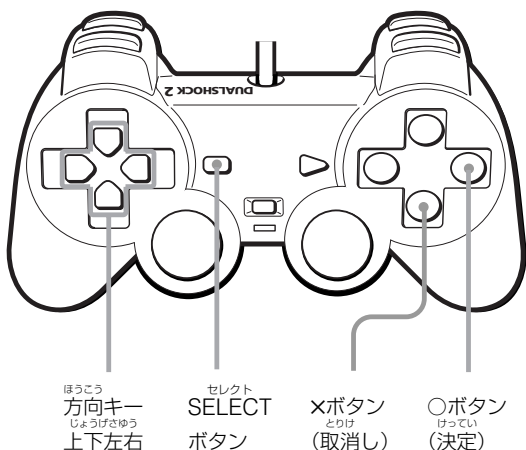
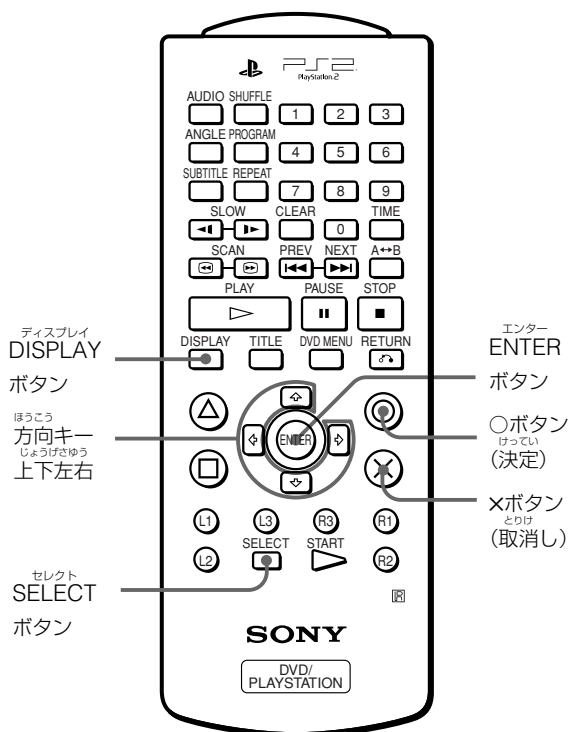
ご注意

- ディスクによっては、異なる操作や禁止されている操作がありますので、再生するDVDビデオの説明書なども必ずご覧ください。
- 本機にIRレシーバーが差し込まれているときと、差し込まれていないときとでは、動作が異なる機能があります。

操作パネルを使う

操作パネルを使って映像を探したり、好みの順で再生したり、アングルを変えたりできます。
ディスクによって操作できる機能が異なります。
操作パネルのそれぞれの項目について詳しくは、35～44ページをご覧ください。

直接選べる項目もあります

いくつかの項目は、リモコンやアナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のボタンを押して、直接選ぶことができます。この場合、選んだ項目だけが表示されます。詳しくは、「"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラを使う」（31ページ）や「アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のダイレクトボタンを使う」（32ページ）をご覧ください。

1 **リモコンのDISPLAYボタンまたはSELECTボタンを押す。**
画面上に操作パネルが出ます。

2 **方向キー上下左右で希望の項目を選ぶ。**

3 **○ボタン（決定）を押す。**

ご注意

リモコンの○ボタンまたはENTERボタン、アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）の○ボタンはすべて決定ボタンとして使用できます。本文中は、○ボタンを使って説明します。

DVDビデオを見る（つづき）

1 DVDメニュー
DVDメニューを出すときに選ぶ。

2 タイトル
タイトルメニューを出すときに選ぶ。

3 RETURN
ひとつ前の選択画面に戻りたいときに選ぶ。

4 音声切り換え
DVDの音声を切り換えるときに選ぶ。

5 アングル切り換え
DVDのアングルを切り換えるときに選ぶ。

6 字幕切り換え
DVDの字幕を切り換えるときに選ぶ。

7 タイトルジャンプ
数字ボタンでタイトル番号、チャプター番号、時間を指定すると、そのタイトルやチャプターにとぶことができる。

8 設定
設定画面を使って、初期設定や画質や音声の調整、さまざまな出力の設定などができる。また DVDを再生するときの、字幕の言語やメニューの表示言語、視聴年齢制限の設定なども設定できる。

9 チャプター表示
再生中のタイトル番号やチャプター番号を表示する。

10 ? ヘルプ
アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のダイレクトボタンの一覧を表示する。

11 チャプタージャンプ／数値入力
再生するチャプター番号や選択する数値を指定するときに選ぶ。

12 ⏮ 前
前の場面に戻りたいときに選ぶ。

13 ⏪/⏩ サーチ
画像を見ながら場面を探すときに選ぶ。

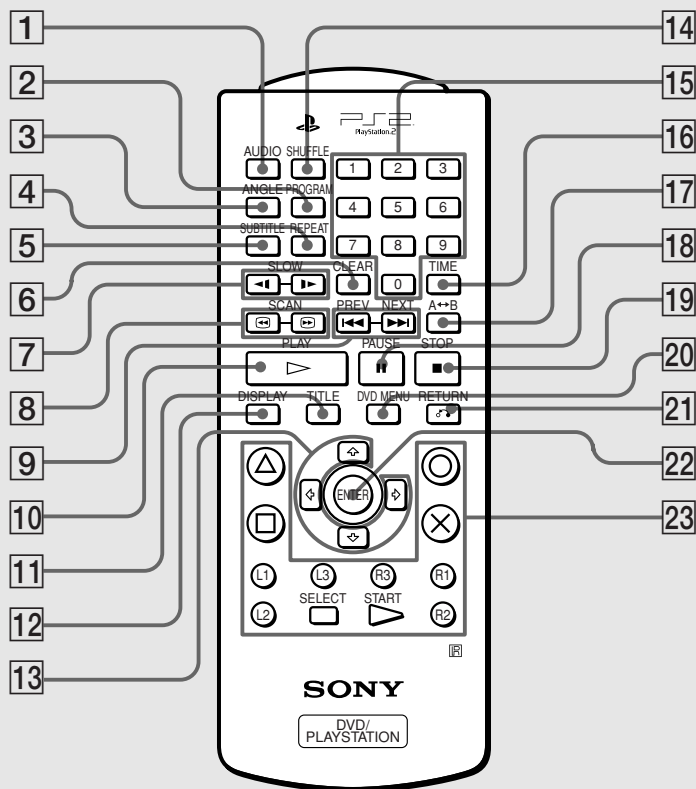
14 ⏭ 次
次の場面に進みたいときに選ぶ。

15 ▶ 再生
再生するときに選ぶ。

16 ❚❚ 一時停止
再生を一時停止するときに選ぶ。

17 ■ 停止
再生を止めるときに選ぶ。

18 ❚▶ スロー
画像を見ながら場面のスロー再生をするときに選ぶ。

"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラを使う

1 AUDIOボタン
DVDの音声を切り換えるときに押す。

2 PROGRAMボタン
プログラム再生をするときに押す。

3 ANGLEボタン
DVDのアングルを切り換えるときに押す。

4 REPEATボタン
リピート再生をするときに押す。

5 SUBTITLEボタン
DVDの字幕を切り換えるときに押す。

6 CLEARボタン
選んだ数字や再生モードを取り消すときに使う。

7 ◀II/II▶SLOWボタン
画像を見ながら場面のスロー再生をするときに押す。

8 ◀◀/▶▶SCANボタン
画像を見ながら場面を探すときに押す。

9 I◀◀/▶▶I PREV/NEXTボタン
前の場面に戻したり、次の場面に進めたりするときに押す。

10 ▷PLAYボタン
再生するときに押す。

11 TITLEボタン
タイトルメニューを表示させるときに押す。

12 DISPLAYボタン
操作パネルを表示させるときに押す。

13 方向キー上下左右
画面に表示されている項目を選ぶときに押す。

14 SHUFFLEボタン
シャッフル再生をするときに押す。

15 数字ボタン
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。

16 TIMEボタン
画面に再生時間などを表示させるときに押す。

17 A↔Bボタン
再生したい部分だけ繰り返すときに押す。

18 IIPAUSEボタン
再生を一時停止するときに押す。

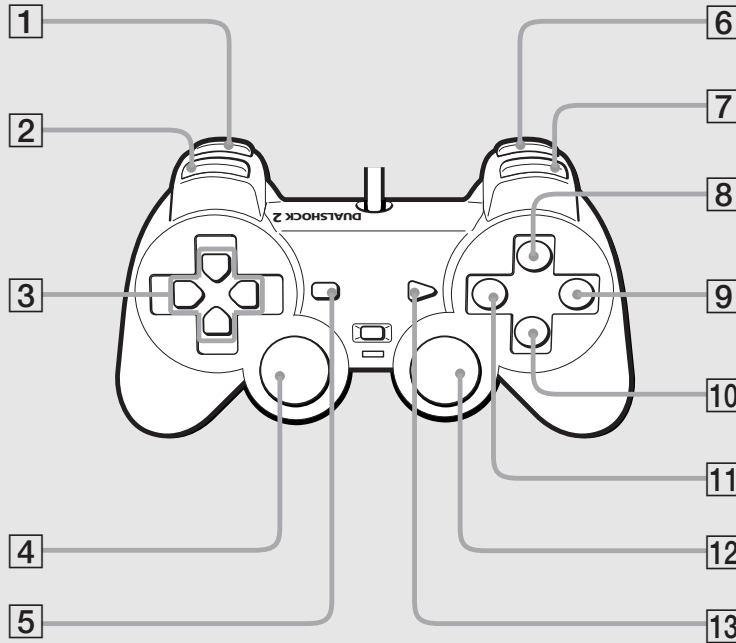
19 ■STOPボタン
再生を止めるときに押す。

20 DVD MENUボタン
DVDメニューを表示させるときに押す。

21 RETURNボタン
ひとつ前の選択画面に戻りたいときに押す。

22 ENTERボタン
画面に表示されている項目を決定するときに使う。

23 コントローラと同じボタンは同じ操作ができます。
一部の"PlayStation 2"規格ソフトウェアまたは、"PlayStation"規格ソフトウェアでは、リモコンからのボタン操作が正常に動作しないことがあります。また、複数のボタンを同時に押しても機能しません。

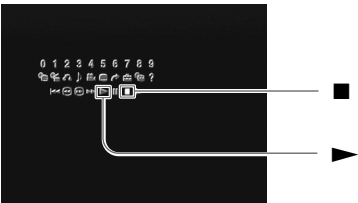
アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のダイレクトボタンを使う

1. L2ボタン（サーチ）
   画像を見ながら場面を探すときに押す（逆方向にサーチ）。
2. L1ボタン⏮（前のチャプター）
   前の場面に戻すときに押す。
3. 方向キー
   画面に表示されている項目を選ぶときに押す。
4. L3ボタン（字幕切り換え）*
   DVDの字幕を切り換えるときに押す。
5. SELECTボタン
   操作パネルを表示させるときに押す。
6. R2ボタン（サーチ）
   画像を見ながら場面を探すときに押す（再生方向にサーチ）。
7. R1ボタン⏭（次のチャプター）
   次の場面に進めるときに押す。
8. △ボタン（DVDメニュー）
   DVDメニューを表示させるときに押す。
9. ○ボタン（決定）
   画面に表示されている項目を決定するときに使う。
10. ×ボタン（停止）
    再生を止めるときに押す。
11. □ボタン（タイトル）
    タイトルメニューを表示させるときに押す。
12. R3ボタン（音声切り換え）*
    DVDの音声を切り換えるときに押す。
13. STARTボタン（▶（再生）/❚❚（一時停止））
    再生したり、再生を一時停止するときに押す。

* L3ボタン、R3ボタンのないコントローラで、字幕切り換えおよび音声切り換えを行いたい場合は、画面上の操作パネルまたはリモコンをお使いください。

再生を止めたところから再生する（リジューム再生）

1 **ディスクの再生中、リモコンの■STOPボタンまたは×ボタンを押して再生を止める。**
画面に「次に再生するときは今のつづきから再生します。始めから再生するにはもういちど［停止］を押してください。」と表示されます。

2 **リモコンの▻PLAYボタンを押す。**
手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

操作パネルを使うとき

1 **ディスクの再生中、方向キー上下左右で操作パネルの■を選び、○ボタンを押して再生を止める。**

2 **►を選び、○ボタンを押す。**
手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

ご注意

- ディスクの最初から再生するときは、再生を止めた後、もう1度■STOPボタンを押してから▻PLAYボタンを押してください。
- DVDによってはリジューム再生ができない場合があります。
- 再生を止めたところによっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、再生を止めたところの記録は消えます。
  – ディスクトレイを開けたとき
  – ⏻/RESETボタンを押したとき
  – 本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切ったとき
  – タイトルやチャプターを選んでから、再生を始めたとき

好きな順に再生する（プログラム再生）

タイトルやチャプターを好きな順に選んでプログラムを作り、再生できます。
リモコンでのみ操作できます。

1 **PROGRAMボタンを押す。**

2 **項目番号を選び、○ボタンを押す。**

3 **方向キー上下で再生したいチャプター番号を含むタイトルを選び、○ボタンを押す。**

4 **方向キー上下で再生したいチャプター番号を選び、○ボタンを押す。**

5 **手順3と4を行って、他に再生したいタイトルを選ぶ。**

6 **▻PLAYボタンを押す。**
プログラム再生が始まります。

プログラム再生をやめるときは

CLEARボタンを押します。

プログラムの設定を変更するには

1 **手順2で変更したい項目番号を選び、○ボタンを押す。**
プログラム再生中もプログラムの設定を変更することができます。ただし、再生中の項目を変更することはできません。

2 **手順3および手順4の操作で新しい設定を入力する。**

設定したプログラムを消すには

すべて消すときは、手順2で「全消去」を選びます。
設定項目をひとつずつ消すときは、停止中に、手順3で方向キー上下で消したい設定項目を選んでから、○ボタンを押し、「消去」を選んだ後、○ボタンを押します。

プログラム再生が終わっても、プログラムは残っています

▻PLAYボタンを押すと、同じプログラムをもう1度再生します。

設定したプログラムで「リピート再生」や「シャッフル再生」もできます

プログラムを再生中に、REPEATボタンまたはSHUFFLEボタンを押します。詳しくは、「順不同に再生する（シャッフル再生）」（34ページ）や「繰り返し再生する（リピート再生）」（34ページ）をご覧ください。

ご注意

- DVDにはプログラム再生ができないものがあります。
- タイトルやチャプターはディスクに記録されている数だけ画面に表示されます。
- 設定したプログラムは、次の場合に解除されます。
  – ディスクトレイを開けたとき
  – ⏻/RESETボタンを押して、リセットしたとき
  – ⏻/RESETボタンを押して、スタンバイ状態にしたとき
  – 本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切ったとき
- プログラム再生を設定すると、A↔Bリピートは解除されます。

順不同に再生する（シャッフル再生）

ディスク上のタイトル番号やチャプター番号に関係なく、本機が自動的に順番を選んで、ひと通り再生します。

リモコンでのみ操作できます。

SHUFFLEボタンを押す。

ボタンを押すたびに、タイトル シャッフル → チャプター シャッフル → シャッフル 切 → タイトル シャッフル → ...と切り換わります。

シャッフル再生をやめるときは

「シャッフル 切」に切り換えるか、CLEARボタンを押します。

停止中でもシャッフル再生の設定ができます

SHUFFLEボタンを押します。設定を選び、▷PLAYボタンを押すと、シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生中にプログラムを再生したり、リピートすることもできます

シャッフル再生中に、PROGRAMボタンまたはREPEATボタンを押します。詳しくは、「好きな順に再生する（プログラム再生）」（33ページ）や「繰り返し再生する（リピート再生）」（34ページ）をご覧ください。

ご注意

- DVDにはシャッフル再生ができないものがあります。
- シャッフル再生は、次の場合に解除されます。
  - DVDメニューやタイトルメニューを表示したとき
  - ディスクトレイを開けたとき
  - 本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切ったとき
- シャッフル再生を設定すると、A↔Bリピートは解除されます。
- 「チャプターシャッフル」を選んだときに、ディスク中の200のチャプターまでシャッフル再生できます。

繰り返し再生する（リピート再生）

ディスクのすべてのタイトル、または1つのタイトルやチャプターを繰り返し再生できます。

シャッフル再生やプログラム再生と組み合わせると、シャッフル再生やプログラム再生での順番で繰り返し再生します。

リモコンでのみ操作できます。

REPEATボタンを押す。

ボタンを押すたびに、ディスク リピート → タイトル リピート → チャプター リピート → リピート 切 → ディスク リピート...と切り換わります。

リピート再生をやめるときは

「リピート 切」に切り換えるか、CLEARボタンを押します。

停止中でもリピート再生の設定ができます

REPEATボタンを押します。設定を選び、▷PLAYボタンを押すと、リピート再生が始まります。

リピート再生中にプログラムを再生したり、シャッフルすることもできます

リピート再生中に、PROGRAMボタンまたはSHUFFLEボタンを押します。詳しくは、「好きな順に再生する（プログラム再生）」（33ページ）や「順不同に再生する（シャッフル再生）」（34ページ）をご覧ください。

ご注意

- DVDにはリピート再生ができないものがあります。
- リピート再生は、次の場合に解除されます。
  - ディスクトレイを開けたとき
  - 本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切ったとき
- リピート再生を設定すると、A↔Bリピートは解除されます。

再生したい部分だけを繰り返す（A↔Bリピート）

再生中、再生したい部分を指定して、その指定した部分を繰り返し再生することができます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

リモコンでのみ操作できます。

1 再生中に繰り返す部分の始点（A点）でA↔Bボタンを押す。

始点（A点）が設定されます。

2 繰り返す部分の終点（B点）でもう1度A↔Bボタンを押す。

指定した部分を繰り返し始めます。

A↔Bリピートをやめるときは

CLEARボタンを押します。

ご注意

- DVDの場面によってはA↔Bリピートの設定ができないことがあります。
- A↔Bリピートが設定できるのは1か所のみです。
- 設定したA↔Bリピートは、次の場合に解除されます。
  - ■STOPボタンを2回押したとき
  - DVDメニューやタイトルメニューを表示したとき
  - ディスクトレイを開けたとき
  - 本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を切ったとき
- A↔Bリピートを設定すると、シャッフル再生、リピート再生やプログラム再生は解除されます。

操作パネルでいろいろな機能を使う

操作パネルを使ったさまざまな機能について説明します。
操作パネルの操作手順はリモコンを使って説明します。アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）を使う場合は、「操作パネルを使う」（29ページ）をご覧ください。

DVDメニューを使う

DVDには、ディスクの内容をメニューで選択できるものがあります。このようなDVDを再生するときは、再生したい項目、表示したい字幕の言語、聞きたい音声の言語などをDVDメニューで選べます。

1 方向キー上下左右で を選び、○ボタンを押す。
DVDメニューが表示されます。DVDメニューはDVDにより異なります。

2 方向キー上下で変更したい項目を選び、○ボタンを押す。

3 設定を変更し、○ボタンを押す。

4 別の項目を変更したいときは、DVDメニューを表示し、手順2を繰り返す。

「DVDメニュー」を直接選べます

リモコンのDVD MENUボタンを押します。

DVDメニューの言語を設定したいときは

設定画面を表示してから、「言語設定」を選びます。詳しくは、「表示言語や音声言語を設定する（言語設定）」（40ページ）をご覧ください。

ひとつ前の選択画面に戻るには

RETURNを選んでから○ボタンを押します。DVDによっては操作できないものがあります。

ご注意

- DVDによってはDVDメニューがない場合があります。
- DVDによっては「DVDメニュー」を「メニュー」と表示しているものがあります。

タイトルを表示する

DVDには、複数のタイトルが記録されたものがあります。タイトルとはDVDに記録されている映像の大きな区切りのことをいいます。このようなDVDを再生するときは、タイトルメニューを使って好きなタイトルを選べます。

方向キー上下左右で を選び、○ボタンを押す。

タイトルメニューが表示されます。タイトルメニューはDVDにより異なります。

「タイトルメニュー」を直接選べます

リモコンのTITLEボタンを押します。

ひとつ前の選択画面に戻るには

RETURNを選んでから○ボタンを押します。DVDによっては操作できないものがあります。

ご注意

- DVDによってはタイトルメニューがない場合があります。
- DVDによっては「タイトルメニュー」を「タイトル」と表示しているものがあります。

音声を切り換える

DVDには、複数の言語（マルチランゲージ）で音声が記録されているものがあります。再生中に好きな言語の音声に切り換えられます。

方向キー上下左右で ♪ を選び、○ボタンを押す。

○ボタンを押すたびに言語が切り換わります。

「音声」を直接選べます

リモコンのAUDIOボタンを押します。ボタンを押すたびに項目が変わります。

ご注意

- DVDによっては複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- タイトルを変えたとき音声が切り換わることがあります。
- 設定画面の「オーディオ設定」で、「音声デジタル出力」の「DTS」を「切」に設定すると、DTS音声を含むDVDを再生しても、音声記録方式をDTSに切り換えることはできません。

アングルを切り換える

DVDには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があります。このようなDVDでは、再生中、複数のアングルが記録されている部分で好きなアングルに切り換えながら見ることができます。
例えば、動いている電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、左の窓や右の窓からの景色に、電車の動きを止めることなく切り換えて見ることができます。

方向キー上下左右で を選び、○ボタンを押す。

アングルの切り換え方法はDVDによって異なります。画面の指示に従って操作を行ってください。

「アングル」を直接選べます

リモコンのANGLEボタンを押します。ボタンを押すたびにアングルが切り換わります。

ご注意

- 切り換えられるアングルの数は、DVDによっても、場面によっても異なります。DVDのその場面に記録されているアングルの数だけ切り換えることができます。
- DVDによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

字幕を表示する

DVDには、字幕が記録されているものがあります。
字幕は再生中であれば、好きなときに表示したり消したりできます。また、DVDに複数の言語の字幕が記録されているときは、再生中の好きなときに切り換えられます。
例えば、字幕を表示して、語学の学習に役立てたりすることができます。

方向キー上下左右で を選び、○ボタンを押す。

○ボタンを押すたびに言語が切り換わります。選べる言語はDVDによって異なります。

「字幕」を直接選べます

リモコンのSUBTITLEボタンを押します。ボタンを押すたびに言語が切り換わります。

字幕を消すには

リモコンのSUBTITLEボタンを繰り返し押して、「字幕 切」を表示します。

ご注意

- 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を表示することはできません。
- DVDによっては字幕が記録されていても、字幕表示を禁止しているものがあります。
- DVDによっては字幕を消すことを禁止している場合があります。
- 記録されている字幕の言語の種類や数はDVDによって異なります。
- DVDによっては複数の字幕が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- DVD再生中、タイトルを変えたときに字幕が切り換わることがあります。

再生する場所を選ぶ

IRレシーバーをつないでいるときに、タイトル番号やチャプター番号、時間を指定して、再生したい映像を探すことができます。

1 再生中に、方向キー上下左右で を選び、○ボタンを押す。

2 方向キー左右で指定する項目を選び、○ボタンを押す。

- Title＝タイトル番号を指定します。
- Chapter＝チャプター番号を指定します。
- C --:--:--（またはT --:--:--）＝チャプター（またはタイトル）の経過時間を指定します。

3 リモコンの数字ボタンで数字を選ぶ。

選んだ場所の再生が始まります。

IRレシーバーをつないでいないときは

タイトル番号のみ指定することができます。

1 再生中に、方向キー上下左右で を選び、○ボタンを押す。

2 方向キー上下左右で再生したいタイトルの数字を選ぶ。

操作パネルの数字ボタンでチャプター番号を指定することができる場合もあります。

ご注意

チャプターまたはタイトルの残り時間から場所を選ぶことはできません。

タイトル番号やチャプター番号を表示する

再生中または一時停止中に方向キー上下左右で を選び、○ボタンを押す。

○ボタンを押すたびに表示の入／切が切り換わります。

IRレシーバーをつないでいるときは、再生中のタイトル番号やチャプター番号、再生時間（再生残り時間）を表示することができます。

経過時間と残り時間を表示するには

リモコンのTIMEボタンを繰り返し押します。ボタンを押すたびに、再生中のタイトル番号とチャプター番号の横の表示が以下のように切り換わります。

再生中のチャプターの経過時間 → 再生中のチャプターの残り時間 → 再生中のタイトルの経過時間 → 再生中のタイトルの残り時間 → 表示OFF → 再生中のチャプターの経過時間 → …

C --:--:--=再生中のチャプターの経過時間
C – --:--:--=再生中のチャプターの残り時間
T --:--:--=再生中のタイトルの経過時間
T – --:--:--=再生中のタイトルの残り時間

IRレシーバーをつないでいないときは

再生中のタイトル番号やチャプター番号を表示することができます。

ダイレクトボタンの一覧を表示する

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）のダイレクトボタンの使いかたを一覧表示します。

方向キー上下左右で ? を選び、○ボタンを押す。

ダイレクトボタンの一覧の表示を消すには

○ボタンを押します。

見たいところや聞きたいところをさがす（サーチ）

再生をしながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところをさがすことができます。

ご注意

DVDによっては操作が禁止されている場合があります。

早送りや早戻しで探すには

1 再生中に、方向キー上下左右で⏩（再生方向にサーチ）または⏪（逆方向にサーチ）を選び、○ボタンを押したままにする。

2 見たいところや聞きたいところになったら、○ボタンを離す。

直接サーチできます

リモコンの⏪/⏩SCANボタンを押し、見たいところや聞きたいところになったら、▷PLAYボタンを押します。
⏪/⏩SCANボタンを押すたびに、サーチする早さが切り換わります。（3段階）

スロー再生をして探すには

1 再生中に、方向キー上下左右で ▮▶（スロー）を選び、○ボタンを押す。

スロー再生が始まります。

2 見たいところや聞きたいところになったら、▶を選び、○ボタン押す。

普通の再生に戻ります。

直接スロー再生できます

リモコンの ◀▮/▮▶SLOWボタンを押し、見たいところや聞きたいところになったら、▷PLAYボタンを押します。

設定画面を使う

設定画面を使って、初期設定や画質や音質の調整、さまざまな出力の設定などができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語、視聴年齢制限の設定などもできます。設定画面の項目について詳しくは、40～44ページをご覧ください。

1 方向キー上下左右で　を選び、○ボタンを押す。
設定画面が表示されます。

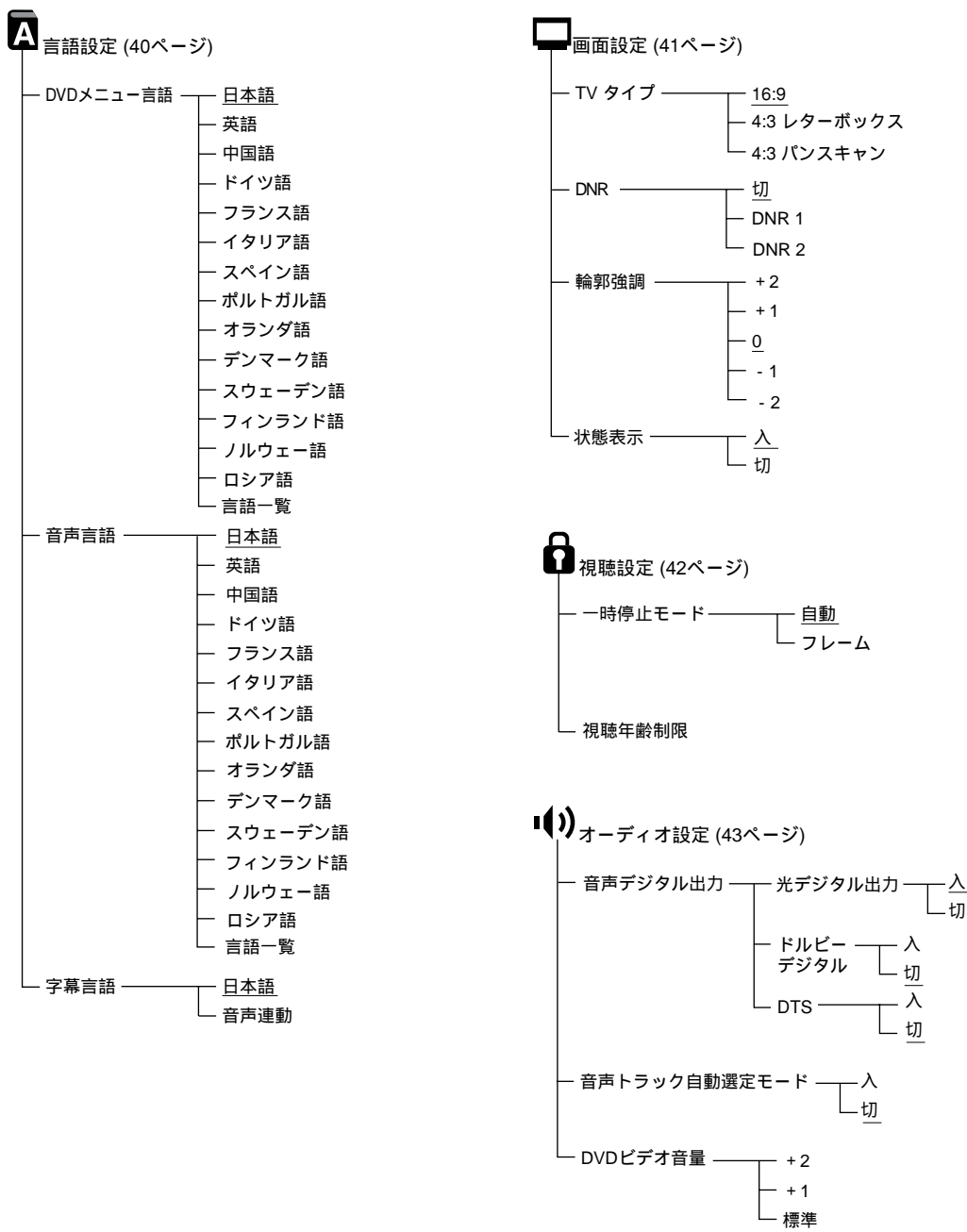
2 方向キー左右で設定項目を選び、○ボタンを押す。
設定項目が選ばれます。

3 方向キー上下で項目を選び、○ボタンを押す。
設定項目が選ばれます。

4 項目を変更する。

変更された内容は、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。ディスクを取り出す前に⏻/RESETボタンを押したり、本体の電源を切ると、変更した内容は保存されません。

設定画面項目一覧表

お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

DVDプレーヤーの操作

表示言語や音声言語を設定する（言語設定）

言語設定画面では、画面や音声の言語を設定することができます。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

設定画面で「言語設定」を選びます。

変更された内容は、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。ディスクを取り出す前に⏻/RESETボタンを押したり、本体の電源を切ると、変更した内容は保存されません。

ご注意

- DVDに記録されていない言語を選んだときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます（「表示言語」を除く）。
- 「DVDメニュー言語」または「音声言語」、「字幕言語」で言語を選んでも、DVDによっては選んだ言語で表示されないことがあります。

■ DVDメニュー言語

DVDに記録されている「DVDメニュー」の言語を切り換えます。

- 日本語（下線付き）
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- ノルウェー語
- ロシア語
- 言語一覧

「言語一覧」を選んだときは、言語コード一覧表から設定したい言語を選びます。

■ 音声言語

DVDに記録されている音声の言語を切り換えます。

- 日本語（下線付き）
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- フィンランド語
- ノルウェー語
- ロシア語
- 言語一覧

「言語一覧」を選んだときは、言語コード一覧表から設定したい言語を選びます。

■ 字幕言語

DVDに記録されている字幕の言語を切り換えます。

- 日本語（下線付き）
- 音声連動*

*「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

画像の設定をする（画面設定）

接続するテレビの形状などを設定します。
お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

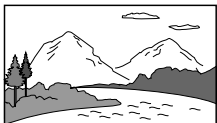
設定画面で「画面設定」を選びます。

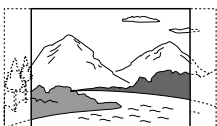
変更された内容は、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。ディスクを取り出す前に⏻/RESETボタンを押したり、本体の電源を切ると、変更した内容は保存されません。

■ TVタイプ

ワイド画像を再生するときに出力する画面の形を、つないだテレビに合わせて設定します。
再生を停止しているときのみ変更できます。

- 16:9：ワイドテレビまたは、ワイドモードのある通常のテレビで見るとき。
- 4:3 レターボックス：通常のテレビで、ワイド画像を横長に表示して画面の上下には帯を入れるとき。
- 4:3 パンスキャン：通常のテレビに、ワイド画像の一部を自動的にカットして画面全体に表示するとき。

16：9

4:3 レターボックス

4:3 パンスキャン

ご注意

DVDには、決まった画面の形が自動的に出力されるものがあります。

■ DNR*

画像のざらつきを減らし、映像をはっきりさせることができます。

- 切
- DNR 1
- DNR 2

* DNRとはDigital Video Noise Reductionの略です。

ご注意

- 「DNR 1」より「DNR 2」のほうが画像のざらつきは軽減されますが、残像が現れやすくなります。残像が現れるときは、「切」に設定してください。
- DVDにはDNRの効果がわかりにくいものがあります。

■ 輪郭強調

画像の輪郭をくっきりさせたり、やわらかくさせたりして、好みの画質に調整することができます。値が大きいほど画像の輪郭が強調されます。

- ＋2
- ＋1
- 0：通常は「0」に設定しておく。
- −1
- −2

■ 状態表示

画面の右上に再生情報を表示したり消したりできます。

- 入：DVDプレーヤーを操作しているときは、数秒間再生情報が表示される。
- 切：再生情報を表示しない。

視聴項目を設定する（視聴設定）

視聴年齢制限などを設定します。
お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

設定画面で「視聴設定」を選びます。

変更された内容は、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。ディスクを取り出す前に⏻/RESETボタンを押したり、本体の電源を切ると、変更した内容は保存されません。

■ 視聴年齢制限

DVDには見る人の年齢によって視聴を制限しているものがあります。視聴年齢制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

視聴年齢制限を設定する

設定画面で「視聴設定」を選びます。

1 方向キー上下で「視聴年齢制限」を選び、○ボタンを押す。

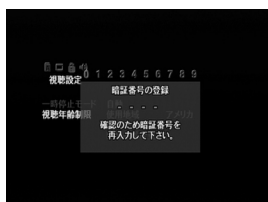
暗証番号が登録されていないとき

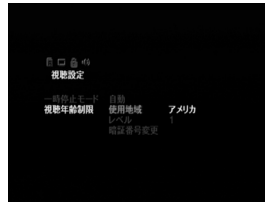
暗証番号入力の画面が表示されます。

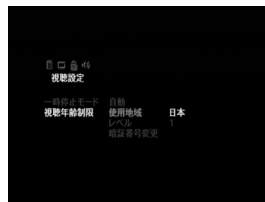
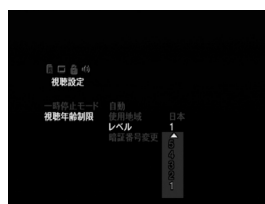
暗証番号がすでに登録されているとき

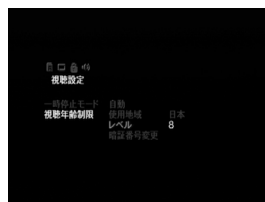
暗証番号確認の画面が出ます。手順2をとばして手順3に進みます。

2 4桁の暗証番号を数字ボタンで入力する。

暗証番号確認の画面になります。

3 確認のため、暗証番号をもう1度入力する。

使用地域の設定、視聴制限のレベル設定、および暗証番号の変更の画面が表示されます。

4 方向キー上下で「使用地域」を選び、○ボタンを押す。

5 方向キー上下で視聴制限レベルの基準にする地域を選び、○ボタンを押す。

6 方向キー上下で「レベル」を選び、○ボタンを押す。

7 方向キー上下で制限するレベルを選び、○ボタンを押す。

レベルの数字が小さいほど、制限が厳しくなります。

視聴年齢制限を解除してDVDを再生するときは

手順7で「レベル」を「切」にして、リモコンの►ボタンを押します。

暗証番号を変更したいときは

1 **「視聴年齢制限を設定する」の手順3で、方向キー上下で「暗証番号変更」を選び、○ボタンを押す。**
暗証番号変更の画面が出ます。

2 **もう1度手順2と手順3を行い、新しい暗証番号を登録する。**

視聴制限のレベルを設定したディスクを再生したいときは

1 **ディスクを入れる。**
再生が自動的に始まった後、視聴年齢制限の設定されているところで、暗証番号入力画面が表示されます。

2 **4桁の暗証番号を数字ボタンで入力し、○ボタンを押す。**
再生が再開されます。
DVDの再生をやめると、視聴制限のレベルはもとに戻ります。

登録した暗証番号を忘れてしまったときは

「視聴年齢制限」の暗証番号確認の画面で、SELECTボタンを押すと「暗証番号の消去」画面が表示されます。数字ボタンで4桁の数字「7444」を入力すると、以前の暗証番号が消えますので、新しい4桁の暗証番号を登録してください。

ご注意

- 視聴年齢制限機能がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- 暗証番号の設定をしないと、設定値の変更ができません。
- DVDによっては再生中に視聴制限レベルの変更を要求されることがあります。このときは暗証番号を入力してレベルを変更してください。なお、停止すると元のレベルに戻ります。

■ 一時停止モード

一時停止にしたときの画像の状態を設定します。
- 自動：動きの激しい被写体のある画像がぶれずに見られる。通常は「自動」にしておく。
- フレーム：動きの少ない被写体の画像が高い解像度で見られる。

音声を設定する（オーディオ設定）

再生するときの音の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。
お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

設定画面で「オーディオ設定」を選びます。

変更された内容は、ディスクを取り出すときに本体に保存されます。ディスクを取り出す前に⏻/RESETボタンを押したり、本体の電源を切ると、変更した内容は保存されません。

■ 音声デジタル出力

光デジタル接続コードを使って、DIGITAL OUT端子に次のような機器をつないだときの、音声信号の出力を設定します。
－デジタル端子のあるアンプ
－ドルビーデジタルまたはDTSデコーダー内蔵のオーディオ機器
－MDデッキまたはDATデッキ
接続について詳しくは、18ページをご覧ください。

- 光デジタル出力
  DIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル出力）端子の出力を設定します。
  – 入：光デジタル接続コードでつないだときは「入」を選ぶ。「入」を選んだら、「ドルビーデジタル」および「DTS」を設定する。
  – 切：DIGITAL OUT端子から音声信号を出力しない。

ご注意

「切」を選んでいるときは、「ドルビーデジタル」および「DTS」は設定できません。

- ドルビーデジタル
  ドルビーデジタル信号の出力を設定します。
  – 入：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵したオーディオ機器につないで音を出すときに選ぶ。
  ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときは、この設定にしない。誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりすることがある。
  – 切：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないだときに選ぶ。

- DTS
  DTS信号の出力を設定します。
  – 入：DTSデコーダーを内蔵しているオーディオ機器をつないでいるときに選ぶ。
  DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるときは、この設定にしない。誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがある。
  – 切：DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるときに選ぶ。

■ 音声トラック自動選定モード

複数の音声記録方式が用意されているDVDを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声記録方式（PCM、ドルビーデジタル、DTS）を優先して再生することができます。

- 入：優先する。
- 切：優先しない。

ご注意

- この設定を「入」にすると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」（40ページ）より優先されるためです。
- 「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」で「DTS」を「切」に設定していると、「音声トラック自動選定モード」で「入」を選んで、DTS音声がチャンネル数が最も多くても、DTS音声は再生されません。
- PCM、ドルビーデジタル、DTSのチャンネル数が同じだった場合、PCM、ドルビーデジタル、DTSの順で優先されます。
- DVDによっては優先する音声があらかじめ決められていることがあります。この場合「入」に設定しても、チャンネル数の多い音声記録方式が優先されないことがあります。

■ DVDビデオ音量

DVDの音声出力レベルが低いとき、DVDの音量を上げることができます。
「音声デジタル出力」の「光デジタル出力」が「切」になっているときのみ、変更することができます。

- ＋2：音量を上げる。
- ＋1：音量を上げる。
- 標準：通常は「標準」にする。

ご注意

- 「＋2」または「＋1」に設定した場合、音量が大きい場所では、音が歪むことがあります。音が歪むときは「標準」にしてください。
- 音量を大きくしすぎると、耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがありますので、ご注意ください。

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision Corporation. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許上の方法クレーム及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

主な仕様

一般	電源	AC100 V 50/60Hz
	消費電力	約39 W
	外形寸法	約301 x 78 x 182 mm（幅/高さ/奥行き）
	質量	約2.2 kg
動作環境温度	5 ℃～35 ℃	
前面入出力端子	コントローラ端子（2） MEMORY CARD差込口（2） (USB）端子（2） S400（i.LINK）端子（1）	
背面入出力端子	EXPANSION BAY（拡張ベイ）（1）	
背面出力端子	AV MULTI OUT（AVマルチ出力）端子（1） DIGITAL OUT（OPTICAL）（光デジタル出力）端子（1）	
内容品	13ページをご覧ください。	

リモコン電池持続時間

通常の使いかたをした場合、約6ヶ月もちます。

電池が消耗すると、リモコンは正常に作動しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなったりします。そのようなときは、2本とも新しい電池と交換してください。

別売り品

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）	SCPH-10010
"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）	SCPH-10020
AVケーブル（映像/音声一体型）	SCPH-10030
"PlayStation 2"専用縦置きスタンド	SCPH-10040
電源コード	SCPH-10050
S端子ケーブル	SCPH-10060
RFUアダプターキット	SCPH-10070
"PlayStation 2"専用マルチタップ	SCPH-10090
"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブル	SCPH-10100
"PlayStation 2"専用横置きスタンド	SCPH-10110
AVアダプター（S映像出力端子付き）	SCPH-10130
"PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラキット	SCPH-10170
携帯電話接続ケーブル（ドコモ iモード携帯電話対応）	SCPH-10180
携帯電話接続ケーブル（ドコモ iモード携帯電話対応）（携帯編集同梱）	SCPH-10180 K
"PlayStation 2"専用縦置きスタンド（ハードディスクドライブ（外付型）対応）	SCPH-10220

別売り品（"PlayStation"規格ソフトウェア専用）

メモリーカード	SCPH-1020
マルチタップ	SCPH-1070

AV MULTI OUT（AVマルチ出力）に含まれるRGB出力はSCARTコネクター方式に準拠しています。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証について

保証書

- この製品の保証書は外箱に印刷されています。**「外箱は捨てないでください」（12ページ）をお読みのうえ、大切に保管してください。**
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（付属の電池は除きます。）
- 保証規定については付属の「サービスのしおり」をご覧ください。

免責

- 当社が別途認める場合のほか、法律の規定により免責が認められない場合を除いて、当社はこの製品の故障などによってお客様が被った損害・費用に対して、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

アフターサービス

- 本機の調子がわるいときは、「故障かな？と思ったら」（46ページ）をご覧になってお調べください。
- 付属の「サービスのしおり」は、修理への出しかたと保証規定が記載されている重要なものです。大切に保管してください。

故障かな？と思ったら

もう一度ご確認ください

❶ 本機の調子がおかしいときは、修理に出す前に以下の項目をもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、インフォメーションセンターにご連絡ください。
また、当社ホームページ（http://www.scei.co.jp/support/）もあわせてご覧ください。

❷ テレビと本体の電源コードは差し込まれているか、またテレビ（ビデオ）と本体、本体と付属品が正しく接続されているかをもう一度ご確認ください。（14ページ）

電源

電源が入らない。

➡ 電源コードがしっかり差し込まれていない。

➡ 主電源が入っていない。
本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を入れてください。

主電源を入れると、本体から大きな音がする。

➡ 本体背面の通風孔がふさがっている。
通風孔をふさがないでください。（7ページ）

画像

画像が出ない。

➡ 本体とテレビ（ビデオ）がAVケーブル（映像/音声一体型）でつながっていない。（14ページ）

➡ 本体とテレビ（ビデオ）の電源が入っていない。

➡ テレビ（ビデオ）の入力切り換えが、「ビデオ（本体をつないだ端子名）」になっていない。

➡ AVケーブル（映像/音声一体型）が奥まで差し込まれていない。

➡ 本機で使用できるディスクが入っていない。（11ページ）

➡ ディスクを入れるとき、ディスクレーベルのある面を上にしていない。（ディスクレーベルのあるディスクの場合）

➡ ディスクがずれて入っている。

➡ 停止になっている。

➡ 接続しているケーブルに問題がある。
お手持ちの他のケーブルに交換してお試しください。

画像が乱れる。

➡ ディスクに汚れや傷がある。

➡ ディスクに結露が起きている。（12ページ）

➡ 本体を不安定な場所に置いている。
平らでぐらつかないところに置いてください。また、本体をゆらさないでください。

➡ 接続しているケーブルにあった設定がされていない。
"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルまたはマルチAVケーブルを使って接続しているときは、コンポーネント映像出力の設定をする必要があります。それぞれの接続にあった設定をしてください。（20ページ）

DVDビデオを再生すると、画像が乱れる。

➡ 本機を、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）を使って、RGB入力のみ対応したAVマルチ入力端子のあるテレビに接続している。
RGB入力のみ対応したAVマルチ入力端子のあるテレビで、DVDビデオをご覧になるときは、付属のAVケーブル（映像/音声一体型）など、別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）以外の"PlayStation 2"に対応したケーブルをお使いください。マルチAVケーブルで接続すると、DVDビデオが正常に映りません。詳しくは、「AVマルチ入力端子のあるテレビにつなぐ」（15ページ）をご覧ください。
（VMC-AVM250はソニー株式会社の商品です。）

➡ 設定があっていない。
"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルを使って接続しているときは、コンポーネント映像出力を「Y Cb/Pb Cr/Pr」に設定する必要があります。
"PlayStation 2"専用コンポーネントAVケーブルにあった設定をしてください。（20ページ）

➡ 本体をビデオデッキまたはビデオ一体型テレビを経由してテレビに接続している。
一部のDVDビデオに使用されているコピープロテクション信号によって、画像が乱れたり、明るくなったり、暗くなったりすることがあります。DVDビデオを楽しむ場合は、本体を直接テレビにつないでください。（14ページ）

DVDビデオのワイド画像を再生したとき、再生画像の形をテレビに合わせて変更できない。

➡ 画像の形を変更できないディスクを再生している。

➡ 本体からの映像出力をテレビに直接つないでいない。
（本体とテレビの間にセレクターやAVアンプなどをつないでいる。）

➡ テレビによっては、画像の形を変更できないものもあります。

音声

音声が出ない。

- ➡ 本体とテレビ（ビデオ）がAVケーブル（映像/音声一体型）でつながっていない。（14ページ）
- ➡ 本体とテレビ（ビデオ）の電源が入っていない。
- ➡ テレビ（ビデオ）の入力切り換えが、「ビデオ（本体をつないだ端子名）」になっていない。
- ➡ テレビの音量が適当でない。または「消音」を選んでいる。
- ➡ AVケーブル（映像/音声一体型）が奥まで差し込まれていない。
- ➡ 本機で使用できるディスクが入っていない。（11ページ）
- ➡ ディスクを入れるとき、ディスクレーベルのある面を上にしていない。（ディスクレーベルのあるディスクの場合）
- ➡ アンプの入力端子を間違えている。
- ➡ スピーカーをアンプに正しくつないでいない。
  接続を確認してください。お使いのアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ➡ アンプの入力切り換えが、本体の音声が出るように（本体をつないだ端子名に）なっていない。
- ➡ 一時停止になっている。
- ➡ サーチ／スロー再生になっている。（DVDビデオ）
- ➡ 本体をデジタル端子付きのオーディオ機器につないだとき、システム設定を正しく行っていない。（18ページ）
- ➡ 接続しているケーブルに問題がある。
  お手持ちの他のケーブルに交換してお試しください。
- ➡ "PlayStation 2"規格ソフトウェアの一部には、DIGITAL OUT (OPTICAL)（光デジタル出力）端子からの音声出力に対応していないものがあり、その場合オーディオ用光デジタル接続コードで接続しても音声が出力されません。そのようなソフトウェアの音声を楽しむには、本機と音響機器をAVマルチ出力のアナログ音声出力端子で接続する必要があります。

音声が乱れる、雑音が多い。

- ➡ ディスクに汚れや傷がある。（12ページ）
  ディスクに汚れがあるときは、クリーニングしてください。
- ➡ 本体を不安定な場所に置いている。
  平らでぐらつかないところに置いてください。また、本体をゆらさないでください。
- ➡ ディスクに結露が起きている。（12ページ）
- ➡ CDのDTS音声を再生している。
  DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器につないでいないときは、DTS音声を再生しないでください。

DVDビデオで、ドルビーデジタルの音声トラックを再生しているのにサラウンド効果がかからない。

- ➡ スピーカーの設定が正しくない。
  お使いのアンプの取扱説明書をご覧ください。
- ➡ ドルビーデジタルのディスクでも、5.1chすべてから出力されないもの（モノラルやL, Rステレオなど）もあります。
- ➡ サラウンド効果を楽しむためには、光デジタルでドルビーデジタルに対応したアンプに接続する必要があります。
- ➡ DVDプレーヤーの「オーディオ設定」の中の「ドルビーデジタル」の設定が「入」になっていない。

DVDビデオで、センタースピーカーからしか音が出ない。

- ➡ ディスクによってはセンタースピーカーからしか音が出ないものもあります。

操作一般

コントローラの操作がきかない。

- ➡ コントローラが本体につながっていない。
- ➡ アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）、アナログコントローラ（DUALSHOCK）のモードが、ソフトウェアの指定モードに合っていない。（24ページ）
- ➡ 接続しているコントローラに問題がある。
  お手持ちの他のコントローラに交換してお試しください。

リモコンの操作がきかない。

- ➡ リモコンと本機の間に障害物がある。
- ➡ リモコンと本機との距離が離れている。
- ➡ 本機につなげたIRレシーバーの受光部 R に向けて操作していない。
- ➡ リモコンの電池が消耗している。
- ➡ 他機のリモコンを使っている。
- ➡ IRレシーバーを本体のコントローラ端子に正しく差し込んでいない。（13ページ）
- ➡ IRレシーバーの受光部 R に直射日光や照明器具などの強い光が当たっている。
- ➡ "PlayStation 2"規格ソフトウェアまたは"PlayStation"規格ソフトウェアを遊んでいる。
  一部の"PlayStation 2"規格ソフトウェアまたは"PlayStation"規格ソフトウェアでは、リモコンからのボタン操作が正常に動作しないことがあります。また複数のボタンを同時に押しても機能しません。
- ➡ リモコンをIRレシーバーの受光部 R の正面に向けて操作していない。

リモコンで操作したら、他のソニー製DVDプレーヤーが動いた。

➡ "PlayStation 2"専用DVDリモートコントローラは、ソニー製のDVDプレーヤーも操作できる仕様になっています。

ゲーム（DVDビデオ、CD）が始まらない、途中で止まる。

➡ 本機で使用できるディスクが入っていない。（11ページ）
➡ ディスクを入れるとき、ディスクレーベルのある面を上にしていない。（ディスクレーベルのあるディスクの場合）
➡ ディスクがずれて入っている。
➡ ディスクに結露が起きている。（12ページ）
➡ ディスクに汚れや傷がある。（12ページ）
ディスクに汚れがあるときは、クリーニングしてください。

"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードが認識またはセーブ（記録）できない。

➡ "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードが本体にしっかり差し込まれていない。
➡ ゲームの指示通りに操作していない。
ソフトウェアの解説書などをご覧ください。
➡ "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードに空き容量がない。（26ページ）
➡ 使用しているソフトウェアに対応したカードが差し込まれていない。（26ページ）
➡ "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードに問題がある。
お手持ちの他の"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）またはメモリーカードに交換してお試しください。

正常に動作しない。

➡ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源コードを抜き差しして、もう1度動作させてください。

⏻（オン/スタンバイ）ランプが赤く点滅し、操作ができない。

➡ 異常に高温な場所で使用したり、本体の通風孔をふさいだ状態で使用したため、本体内部が異常に熱くなっている。
⏻ランプが赤く点滅して、すべての操作が無効になります。⏻ランプが点滅しなくなるまで放置してください。

ディスクトレイが開かない。

➡ 電源コードがしっかり差し込まれていない。
➡ 主電源が入っていない。
本体背面のMAIN POWER（主電源）スイッチで電源を入れてください。

"PlayStation 2"規格ソフトウェアを使って遊ぶと、本体から音や振動がする。

➡ "PlayStation"規格ソフトウェアに比べ、高速回転で読み込むため、振動や音が大きくなります。

DVDビデオの操作

再生がディスクの最初から始まらない。

➡ 「リジューム再生」になっている。
停止中に、■STOPボタンを押してから再生を始めてください。
➡ 自動的にタイトルメニュー、DVDメニューの画面に入るディスクを入れている。
➡ プログラム再生、シャッフル再生、リピート再生、A↔Bリピート再生に設定されている。

DVDのタイトルを選択しても、再生が始まらない。

➡ 視聴年齢制限機能が働いている。
➡ 地域番号がちがう。（11ページ）

停止、サーチ、スロー再生などの操作ができない。

➡ 操作を禁止しているディスクを再生している。

音声言語を変更できない。

➡ 再生しているディスクに複数の音声言語が記録されていない。
➡ 音声言語の切り換えを禁止しているディスクを再生している。

字幕を変更できない。

➡ 再生しているディスクに複数の字幕が記録されていない。
➡ 字幕の切り換えを禁止しているディスクを再生している。

字幕を消すことができない。

➡ 字幕表示を消すことを禁止しているディスクを再生している。

アングルを変更して見ることができない。

➡ 再生しているディスクに複数のアングルが記録されていない。
➡ アングルの変更を禁止しているディスクを再生している。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

（発行日：2002年6月5日）

1. 情報の使用目的について

ご提供いただきました氏名・住所・アンケートまたはお客様カルテのお答えなどの個人情報(以下個人情報)は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントにて下記の目的に使用させていただきます。下記以外の目的で個人情報を使用する際には、改めて目的をお知らせし、お客様の同意をいただきます。

＜ご愛用者カード＞

- 今後の商品企画の参考
- 当社の商品・サービスに対するご意見やご感想の提供のお願い
- 商品および販売企画上の統計資料の作成

＜保証書／お客様カルテ／インフォメーションセンターへのお問い合わせ＞

商品の修理などのアフターサービス

2. 情報の保管について

第三者がお客様の個人情報に触れることがないよう、合理的な管理体制のもとで保管いたします。なお、個人情報は当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。

3. 情報の開示について

下記の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に開示することはありません(お客様個人を特定できない統計資料は除く)。

（1）お客様にお知らせした使用目的のために、事業協力会社に対する開示が必要な場合（この場合、当該協力会社に対して、当該個人情報の厳重な管理を求め、目的以外の使用を行わせないようにいたします。）なお、ご愛用者アンケートの集計、商品の修理および修理品の配送に当たり、協力会社に業務を一部委託しております。

（2）司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合

4. 問い合わせ及びその他のご連絡

ご提供いただいたお客様の個人情報の照会・修正・削除を希望される場合またはご意見やご感想の提供のお願い(追加アンケート等)の送付を希望されない場合は、下記の窓口までご連絡ください。速やかに対応させていただきます。

本規定は、改善のため予告なく変更される場合があります。最新の情報については下記の窓口までご連絡ください。

〈個人情報のお問い合わせ先〉

株式会社 ソニー・コンピュータエンタテインメント

インフォメーションセンター　0570-000-929

携帯電話、PHSの場合　03-3475-7444

（受付時間：10:00〜18:00）

12才までのお子さまへ

修理についてでんわをかけるときは、ほごしゃのかたといっしょにかけてください。

「ご愛用者カード」、「お客様カルテ」、「保証書」もほごしゃのかたといっしょにかいてください。

本機は国内専用品です。
DVDビデオを本機で再生して他機で録画する場合、録画動作が停止され、又は録画が制限されることがあります。これはDVDビデオに施されたコピープロテクションによるものです。このコピープロテクションを改変し、又は除去してDVDビデオを録画することは、私的使用のためであっても、法律により禁止されています。

本機にはアクセスコントロールが施されています。DVDビデオ及び音楽CDを除く非専用ソフトウェア、並びに専用ソフトウェアの複製物は、本アクセスコントロールにより本機において使用することができません。本アクセスコントロールの無効化装置若しくはプログラム又は本無効化装置を組み込んだ本機を譲渡し、引き渡し、展示し、輸出し、輸入し、又は送信することは、法律により禁止されています。

- 本機は対戦ケーブル（SCPH-1040）をサポートしておりません。
- 一部の "PlayStation"規格ソフトウェアは、本機上では"PlayStation"上と異なった動作をする場合があります。
  タイトル毎の状況の詳細につきましては、当社のホームページ（http://www.scei.co.jp）をご覧いただくか、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では™、®マークは明記していません。

お客様にご提供いただく個人情報のお取り扱いにつきましては、本書の「お客様の個人情報のお取り扱いについて」のページをご覧ください。

株式会社ソニー･コンピュータエンタテインメント
〒107-0052　東京都港区赤坂7丁目1番1 号

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント　インフォメーションセンター
URL　http://www.scei.co.jp/support/
TEL　0570-000-929（携帯電話・PHSの場合 03-3475-7444）　受付時間10:00～18:00

お客様にご提供いただく個人情報のお取り扱いにつきましては、本書の「お客様の個人情報のお取り扱いについて」のページをご覧ください。

株式会社ソニー･コンピュータエンタテインメント
オフィシャルホームページ www.scei.co.jp

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan